

令和3年度

# 事業報告書

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会

## 令和3年度社会福祉法人 西予市野城総合福祉協会事業報告書

はじめに

令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に様々な影響を受けた一年でした。当法人においても、健康チェック、手洗い、手指消毒等の基本的な感染防止対策を十分に講じていますが、やむを得ず面会制限、介護サービス利用の自粛要請により利用者の皆様、家族の皆様をはじめ関係者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけしております。

令和4年1月に法人の特別養護老人ホームで新型コロナウイルスによるクラスターが発生した際には、利用者、家族、地域の皆様、関係機関の皆様にはご心配をおかけしました。皆様のご協力、職員の感染防止対策徹底により2週間程度で終息することが出来ました。これまでの当法人の感染症対策にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

感染対策を講じながら、利用者への安心・安全な環境を整え、少しでも笑顔になっていただくよう各施設・事業所で行事や日課に工夫を凝らしました。ウィズコロナ時代では、これまでのコロナ対応によって気づいたことを次年度に活かし、安心・安全はもとより生活に潤いと活気のあるサービスの提供に努めていきたいと思っております。

職員については、出張や研修会の制限や中止、感染状況により不要不急の外出の自粛を要請していました。社会福祉施設等の現場においては、職員は自身の感染予防に加えて、利用者や同僚への感染予防にも細心の注意を払いながら日々の業務に従事しています。長期化することにより心理的ストレスを抱えていると思っております。相談窓口やセルフチェック、日頃からできるストレス対処法などを積極的に発信し、職員のこころと身体の健康に努めたいと思っております。

そのような状況の中、平成3年度は、6つの重点目標を掲げ実践してきました。Ⅲ令和3年度重点目標達成状況で報告をいたします。特に、①サービスの質の向上（野村育成園と野村学園の建て替えを含む。）については、長年の懸案事項でありました障害児施設の在り方について、当法人として経営を存続することとし体制を整えました。又野村育成園の新築移転事業について、基本計画を作成し令和4年度建築に向けて準備をすることが出来ました。

福祉サービス事業を安定的に継続的に経営していくことが、西予市東部地域における社会資源としての役割を果たすこととなります。今後とも、職員一人一人が尊厳を大切に、組織の中での役割を自覚し力を発揮する福祉人材の確保と育成に努め、地域社会に貢献をしてまいります

### I 基本理念

- 共生 ～ともに生きともに育つ～

### II 基本方針

- 私たちは利用者の尊厳を大切にしともに歩みます
- 私たちは家族との絆をともに深めます
- 私たちは夢を持ち笑顔でともに邁進します
- 私たちは安心して暮らせる地域社会をともに築きます
- 私たちは法令を遵守し信頼される法人をともに目指します

### Ⅲ 令和3年度重点目標達成状況

#### ① サービスの質の向上（野村育成園と野村学園の建て替えを含む。）

障害福祉サービスのニーズ量、地域の人口減少、少子高齢化、福祉人材の確保等を検討し、今後の障害福祉サービスの在り方を見直しました。

まず、障害児入所施設において18歳を過ぎても自宅や成人施設に移れない「加齢児」が障害児入所施設に入所できる経過措置が令和3年度末までとなり、愛媛県と協議を重ね南予地域に1か所は障害児入所施設が必要だということで、法人として障害児入所施設を存続することになりました。令和3年7月1日付で障害者支援施設野村学園定員40名、第二障害者支援施設野村学園定員30名、障害児入所施設野村学園定員10名の3施設（以下「野村学園」という。）体制で経営を開始しました。

又、築41年で経年劣化の見られる障害者支援施設野村育成園新築移転事業計画を策定し、令和4年度事業計画及び収支予算に計上することが出来ました。利用者の高齢化、重度化に対応し、感染症対策や災害に強い地域の福祉避難所としての機能を持つ施設としています。

中長期的には、野村学園の生活環境の整備、建物の老朽化、土砂災害の危険性、野村ダム湖畔近くという立地条件などを鑑み、野村学園の建替えも考慮した資金、設備計画の準備も進めています。

#### ② 福祉人材の確保と育成、定着に向けた取組の強化

人材確保に向けた広報活動としては、パンフレットや広報誌、ホームページ等で情報を発信しています。広報委員会により法人プロモーションビデオの作成を行いました。ホームページやブログ、動画サイトを活用し求人活動にも活かしていきます。

コロナ禍の為就職説明会等は軒並み中止となりましたが、採用試験では新規採用者が8名、パート・臨時職員は8名内定することが出来ました。定年退職者10名の内8名が継続雇用を希望しています。

子育てや介護中でも育児休暇、子の看護休暇、介護休業や介護休暇も気兼ねなく取得し、仕事との両立が出来る体制や働く意欲がある高年齢者がその能力を十分に発揮できる環境の整備などを行っています。

外国人労働者雇用については、令和3年1月にミャンマーから4名の技能実習生を迎えました。受け入れ施設の利用者や家族、職員、地域住民の理解と協力を得ながら、外国人が安心して仕事や生活ができるようサポートしています。実習生も大変努力し令和3年9月からは、介護職員としての業務が概ね出来るようになりました。

令和3年度中には、第2期生2名、第3期生2名の受け入れを計画していましたが新型コロナウイルス感染防止対策によりミャンマーから入国が出来ない状態が続き、令和4年度に延期となっています。

#### ③ 危機管理体制の強化

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の終息の見通しは立たず、感染が拡大している状況です。私たち介護や支援の現場でも新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」を日常生活に取り入れ対応しています。面会や外出は感染状況に応じた制限や自粛は行っていますが、各施設・事業所とも利用者に生活の潤いを感じ笑顔で過ごしていただけるよう様々な工夫を凝らし努めて参りました。

そのような中、令和4年1月には、法人の特別養護老人ホームで新型コロナウイルスによるクラスターが発生しました。利用者、家族、地域の皆様、関係機関の皆様にはご心配をおかけしました。皆様のご協力、職員の感染防止対策徹底により2週間程度で終息することが出来ました。今後も法人内の他施設で発生する可能性は十分にあり得ます。引き続き感染防止対策を徹底し、安心・安全な運営に努めて参ります。

社会福祉法人の連携として、南予福祉施設会の8法人が災害時相互応援協定書を結びました。火災、震災、水害及び感染症の災害が発生し、利用者に対する支援機能の維持が困難な会員施設に機能の補完等を目的とした応援を円滑に行うため協力する体制が整いました。法人が会員になっている他の組織との応援協定についても今までにそれぞれ締結しています。横の連携を強化することは、自然災害や感染症による災害の備えとして重要だと考えます。関係機関との情報を共有し、お互いに協力し合える良好な関係を維持して参ります。

#### ④ 成長支援制度の推進

成長支援制度の目的は、単なる評価・処遇を決めるといったものだけでなく、制度の運用を通じて管理者・職員がともに成長していくこと。法人の組織力を高めることを目指し新しい発見や成長点を見出すことなど、職員にしっかりと説明してきました。

仮運用から5年が経過しました。当初作成した「法人のあるべき職員像」を検証し、その結果とアンケートにより「新たな法人のあるべき職員像」を策定しました。今後は、目標達成のため人事考課票や中長期計画へ反映し、5年後には「新たな法人のあるべき職員像」を達成していきたいと思えます。

成長支援制度の運用サイクルは、法人理念や基本方針から導き出された法人中長期計画から施設目標、部門・チーム目標設定、各職員の目標設定に繋がり、目標を達成する手段として位置付けられます。個人の「成果」「成長」が法人全体の経営に大きな影響を与えているんだということを職員に認識してもらうことが重要です。

進捗支援、目標の振り返り、人事評価、評価調整、処遇決定、フィードバック、そして部門・チーム目標と一連の流れを実施してきました。今何を目標に具体的に取り組み改善していくか話し合いを重ね、少しずつ職員も組織も成長しています。

#### ⑤ 第4期中長期計画の実践

中長期計画は、基本理念等ならびに事業目的を明確化し、組織に浸透させることができ、継続性、計画性に基ついた意思決定を推し進めることができます。事業の管理遂行を円滑に行い、組織内外に説明責任を果たし社会福祉法人の信頼を高める為に必要です。

令和3年度は、第4期中長期計画の実施初年度になります。法人の基本理念の基に基本方針があり、第4期中長期計画にはこの基本方針を具現化するために「利用者に対する基本姿勢」、「社会に対する基本姿勢」、「福祉人材に対する基本姿勢」、「マネジメントに対する基本姿勢」の4つの基本姿勢を掲げました。その内容には、『サービスの支援の質の向上（野村育成園と野村学園の建て替え計画を含む）』『成長支援制度の定着』『人材確保』『地域を包括する公益的取り組みの推進』を4つの柱として重点的に取り組むこととしています。

法人の事業計画や各事業所の事業計画には、それぞれの項目を落とし込み達成目標

を掲げています。成果と課題を分析し、PDCA（計画→実施→検証→改善）サイクルを機能させ継続的な経営改善に繋げていきます。

#### ⑥ 地域における公益的な取り組みの実践

令和3年度もコロナ禍のため、地域へ出での活動や、利用者との交流事業、施設開放などコロナ禍以前に比べると地域における公益的な取り組みは少なくなっていますが、西予市社会福祉協議会が運営する規制緩和デイサービスや認知症予防自主サークル活動への施設開放、地域へ出向いてのミュージック・ケアの実践、市道の清掃、幼稚園・保育所等との交流など、感染対策を取りながら可能な限り行いました。

ボランティアの受け入れなどは、利用者との接触を避けるため、コミュニケーションを深めることは難しい状況ですが、介護用品や介護機械の説明、施設で働くそれぞれの職種の仕事内容の説明など、福祉について関心を持ってもらう内容にするよう工夫を凝らしています。

修学金事業や法人後見については、地域や関係機関に周知を行い利用も増えてきています。

社会福祉法人の持つ専門性や資源を活用し、地域のニーズに効果的に応えるために今後も取り組んで参ります。

#### IV 事業実施状況

期 日	事 業 名	場 所	適 要
4月1日	辞令交付式	各施設	Webで開催
4月2日	寿楽苑関係第三者委員会	寿楽苑	苦情解決
5月14日	監査法人アシスト菊池会計士決算審査	野城ふれあい館	
5月17日	決算事務内部監査	野城ふれあい館	令和2年度決算チェック
5月19日	法人監事監査	野村育成園・野村学園・しいのき園	令和2年度決算チェック
5月20日	法人監事監査	法正園・寿楽苑・奥伊予荘	令和2年度決算チェック
5月28日	第1回理事会	野城ふれあい館	令和2年度事業報告・収支決算承認・他
6月21日	リクルート活動	北宇和高校・三間分校	
6月23日	第1回定時評議員会	野城ふれあい館	令和2年度事業報告・収支決算承認・役員改選
	第1回評議員選任・解任委員会	野城ふれあい館	任期満了による評議員選任
	第2回理事会	野城ふれあい館	理事及び業務執行理事選任
6月28日	リクルート活動	三崎高校、川之石分校	
6月29日	リクルート活動	宇和高校・三瓶分校	
7月7日	第3回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	土地の取得について 他
7月8日	技能実習生3期生オンライン面接（候補者2名、補欠1名決定）	野城ふれあい館	候補者2名、補欠1名決定
7月15日	就労支援事業所あおぞら事業用地移転事業用地売買契約締結	野城ふれあい館	
7月24日	第1期採用試験	野城ふれあい館	4名応募中4名採用
8月20日	第4回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	土地売買契約締結について
9月2日	第2回評議員会 評議員会の決議があったものとみなされた日	評議員会決議省略	定款の一部変更 他
9月25日	第2期採用試験	野城ふれあい館	3名応募中3名合格
10月中	奉仕作業	野村・城川地区	各施設・事業所毎
10月13日	第5回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	給与規則一部改正 他

期 日	事 業 名	場 所	適 要
10月18日	市議会議員との懇談会	西予市野村支所	人材確保について
10月27日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野城ふれあい館	監査法人アシスト
11月9日	財務会計に関する内部統制の向上に対する支援	野城ふれあい館	監査法人アシスト
11月11日	上半期内部監査	野城ふれあい館	令和3年度上半期
11月12日	上半期内部監査	野城ふれあい館	令和3年度上半期
11月18日	法人監事監査	しいのき園、野村育成園、寿楽苑	上半期決算
11月19日	法人監事監査	野村学園、法正園、奥伊予荘	上半期決算
12月7日	第6回理事会	野城ふれあい館	給与規則の一部改正・他
1月7日	第7回理事会 理事会の決議があったものとみなされた日	理事会決議省略	評議員会の招集について（決議の省略）
	奨学金審査委員会	野城ふれあい館	令和4年度奨学生決定
1月14日	第4期採用試験	野城ふれあい館	2名応募中2名正職員採用
1月25日	第3回評議員会 評議員会の決議があったものとみなされた日	評議員会決議省略	野村育成園新築移転計画について
1月29日	第5期採用試験	野城ふれあい館	1名応募中1名正職員採用
2月18日	第6期採用試験	野城ふれあい館	1名応募中1名正職員採用
2月23日	第7期採用試験	野城ふれあい館	1名応募中1名正職員採用
3月5日	第8期採用試験	野城ふれあい館	1名応募中1名正職員採用
3月11日	第9期採用試験	野城ふれあい館	1名応募中採用なし
3月12日	第8回理事会	野城ふれあい館	補正予算・事業計画・収支予算承認 他
3月29日	法人所轄庁監査	野城ふれあい館	所轄庁（西予市）法人監査
3月31日	退職辞令交付式	野城ふれあい館	定年退職8名中7名継続雇用

\* 第三期採用試験は応募者なし

## V 法人研修会

各階層に応じた研修会を行い、当法人で働く組織人として習得すべき知識や技能の向上を図り、組織マネジメントの強化を図るため計画していましたが、新型コロナウイルス感染症感染防止のため一部変更や中止をしています。

No.	研修日	時間数	対象者	研修テーマ名	備考
1	7月～6月	5日（21時間）	令和2、3年度新任職員研修会	講師：幸田裕司 メンタルヘルス他	Web研修
2	8月～11月	2日（12時間）	令和2、3年度新任職員研修会	講師：大塚恭子 接遇	感染対策により中止
3	8月～11月	3日（12時間）	ネクストリーダー研修会	講師：大塚恭子 影響力を高めるコミュニケーション	感染対策により中止
4	8月～11月	3日（12時間）	リーダー研修会	講師：大塚恭子 コーチング	感染対策により中止
5	9月28日	1日（4時間）	令和2年度新任職員研修会	講師：阿部ふみ 接遇	Web研修
6	11月2日	1日（4時間）	令和3年度新任職員研修会	講師：阿部ふみ 接遇	Web研修
7	1月～2月	3日（12時間）	リーダー研修会	講師：大塚恭子 コーチング	感染対策により中止

## VI 成長支援制度の取り組み

期 日	会 議 名	検 討 内 容	場 所
4月12日	成長支援事務局会	今年度の取り組み 他	Web会議
5月19日	第1回施設オンライン巡回	上期チーム目標設定ミーティング	寿楽苑・奥伊予荘
5月19日	第1回施設オンライン巡回	上期チーム目標設定ミーティング	野村育成園・野村学園
5月24日	第1回施設オンライン巡回	上期チーム目標設定ミーティング	法正園・しいのき園
5月26日	成長支援制度プロジェクト会議	推進テーマ・目指すべき職員像他	Web会議

期 日	会 議 名	検 討 内 容	場 所
6月22日	成長支援事務局会	職員像アンケート・人事考課他	Web会議
7月5日	成長支援研修	部下との面談力向上研修	Web会議
7月20日	成長支援研修	部下との面談力向上研修	Web会議
7月28日	成長支援制度プロジェクト会議	職員像アンケート・スキルチェック他	Web会議
8月12日	成長支援事務局会	職員像アンケート・人事考課他	Web会議
9月29日	成長支援制度プロジェクト会議	職員像アンケート・人事考課他	Web会議
10月14日	新任評価者研修	新任評価者研修	Web会議
10月21日	成長支援研修	報連相研修	Web会議
10月26日	成長支援研修	報連相研修	Web会議
10月27日	成長支援事務局会	職員像アンケート・人事考課他	Web会議
11月11日	成長支援研修	報連相研修	Web会議
11月16日	第2回施設オンライン巡回	上期の振り返り・下半期目標	野村育成園・野村学園
11月16日	第2回施設オンライン巡回	上期の振り返り・下半期目標	法正園・しいのき園
11月22日	第2回施設オンライン巡回	上期の振り返り・下半期目標	寿楽苑・奥伊予荘
11月25日	成長支援研修	メンタルタフネス研修	Web会議
11月29日	成長支援制度プロジェクト会議	目指すべき職員像・人事考課他	Web会議
12月2日	成長支援研修	メンタルタフネス研修	Web会議
12月14日	成長支援研修	メンタルタフネス研修	Web会議
1月6日	成長支援事務局会	職員像アンケート・フィードバック他	Web会議
1月24日	成長支援制度プロジェクト会議	職員像アンケート・フィードバック他	Web会議
3月3日	第3回施設オンライン巡回	人事考課・チーム目標振り返り	法正園・しいのき園
3月8日	第3回施設オンライン巡回	人事考課・チーム目標振り返り	野村育成園・野村学園
3月10日	第3回施設オンライン巡回	人事考課・チーム目標振り返り	寿楽苑・奥伊予荘
3月22日	成長支援事務局会	年度振り返り・目指すべき職員像他	Web研修

## Ⅶ 理事会

### 令和3年度第1回理事会

期 日 令和3年5月28日(金)

#### ○ 報 告

報 告 番 号	件 名
報告 第1号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第2号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第1号)について
報告 第3号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第2号)について
報告 第4号	しいのき園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第3号)について
報告 第5号	寿楽苑関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第4号)について
報告 第6号	奥伊予荘関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定(専決処分第5号)について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第1号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会経理規程の一部を改正する規程制定について
議案 第3号	令和3年度野村学園第二拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第4号	令和3年度野村学園障害児拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第5号	令和2年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告の承認について
議案 第6号	令和2年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第7号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会の委員の選任について
議案 第8号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会任期満了による役員候補者の推薦について
議案 第9号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会任期満了による評議員候補者の推薦について
議案 第10号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会の招集について
議案 第11号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員会の招集について

令和3年度第2回理事会

期 日 令和3年6月23日（水）

○ 報告

報告番号	件名
報告 第7号	次期任期の役員について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会理事長の選定について
議案 第13号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会業務執行理事の選定について
議案 第14号	野村学園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第15号	令和3年度野村育成園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第16号	令和3年度法正園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第17号	令和3年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第18号	令和3年度しいのき園拠点区分補正予算（第1号）について
議案 第19号	令和3年度寿楽苑拠点区分補正予算（第1号）について

議案番号	件名
議案 第20号	令和3年度奥伊予荘拠点区分補正予算（第1号）について

令和3年度第3回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和3年7月7日（水）

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第21号	土地の取得について
議案 第22号	令和3年度野村学園障害児拠点区分補正予算（第2号）について

令和3年度第4回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和3年8月20日（金）

○ 報告

報告番号	件名
報告 第8号	令和3年度第1回社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員選任・解任委員会議事録の提出について
報告 第9号	土地売買契約締結について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第23号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第24号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会社会福祉充実計画の承認について
議案 第25号	ソフトウェア売買契約について
議案 第26号	令和3年度寿楽苑拠点区分補正予算（第2号）について
議案 第27号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会令和3年度第2回評議員会決議の省略について

令和3年度第5回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和3年10月13日（水）

○ 報告

報告番号	件名
報告 第10号	指定障害者支援施設野村育成園預り金等管理規程の全部を改正する規程制定（専決第6号）について
報告 第11号	指定障害者支援施設野村学園・第二障害者支援施設野村学園・障害児入所施設野村学園 預り金等管理規程の全部を改正する規程制定（専決第7号）について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第28号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第29号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について

令和3年度第6回理事会

期 日 令和3年12月7日(火)

○ 報告

報告番号	件名
報告 第12号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第13号	職員懲戒処分の報告について
報告 第14号	職務執行状況の報告について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第30号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第31号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第32号	令和3年度しいのき園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第33号	令和3年度奥伊予荘拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第34号	野村育成園移転新築計画について

令和3年度第7回理事会

理事会の決議の省略

「理事会の決議があった日」とみなされる日 令和4年1月7日(金)

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第35号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会評議員会の招集について(決議の省略)

令和3年度第8回理事会

○ 報告

報告番号	件名
報告 第15号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会各施設・事業所経過報告について
報告 第16号	野村育成園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について

報告番号	件名
報告 第17号	職務執行状況の報告について
報告 第18号	職員懲戒処分について

○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第36号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会看護師資格取得に関する奨学金規程の全部を改正する規程制定について
議案 第37号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第38号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会職員給与規則の一部を改正する規則制定について
議案 第39号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会臨時職員等の就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第40号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会短期雇用契約職員就業規則の一部を改正する規則制定について
議案 第41号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会育児休業・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則制定について
議案 第42号	法正園関係事業の運営規程の一部を改正する規程制定について
議案 第43号	令和3年度野村育成園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第44号	令和3年度野村学園成人部拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第45号	令和3年度野村学園第二拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第46号	令和3年度野村学園障害児拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第47号	令和3年度法正園拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第48号	令和3年度しいのき園拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第49号	令和3年度寿楽苑拠点区分補正予算(第3号)について
議案 第50号	令和3年度奥伊予荘拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第51号	令和3年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分補正予算(第2号)について
議案 第52号	令和3年度修学支援事業拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第53号	令和3年度法人後見事業拠点区分補正予算(第1号)について
議案 第54号	令和4年度給食業務委託契約更新について
議案 第55号	令和4年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業計画について
議案 第56号	令和4年度野村育成園拠点区分収支予算について
議案 第57号	令和4年度野村学園成人部拠点区分収支予算について

報告番号	件名
議案 第58号	令和4年度野村学園第二拠点区分収支予算について
議案 第59号	令和4年度野村学園障害児拠点区分収支予算について
議案 第60号	令和4年度法正園拠点区分収支予算について
議案 第61号	令和4年度しいのき園拠点区分収支予算について
議案 第62号	令和4年度寿楽苑拠点区分収支予算について
議案 第63号	令和4年度奥伊予荘園拠点区分収支予算について
議案 第64号	令和4年度惣川高齢者生活福祉センター拠点区分収支予算について
議案 第65号	令和4年度修学支援事業拠点区分収支予算について
議案 第66号	令和4年度法人後見事業拠点区分収支予算について
議案 第67号	施設長等の選任及び解任について

#### VIII 評議員会

令和3年度第1回評議員会

期 日 令和3年6月23日（水）

##### ○ 報告

報告番号	件名
報告 第1号	令和2年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会事業報告について

##### ○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第1号	令和2年度社会福祉法人西予市野城総合福祉協会収支決算の承認について
議案 第2号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会任期満了による役員の選任について

令和3年度第2回評議員会

評議員会の決議の省略

「評議員会の決議があった日」とみなされる日 令和3年9月2日（木）

##### ○ 議案審議

議案番号	件名
議案 第3号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会定款の一部変更について
議案 第4号	社会福祉法人西予市野城総合福祉協会社会福祉充実計画の承認について

## IX 専門員会実施状況

委員会	実施回数	内容
統括委員会	26	経営管理・整備・研究
危機管理対策委員会	23	危機管理対策
広報委員会	7	広報誌3回発行、協会パンフレット、ホームページ作成
エルダー委員会	2	エルダー制度の目的確認、各施設への周知、制度の構築
研修委員会	3	階層別研修、地域連携講演会、継続研修会等の計画実施
外国人雇用推進委員会	6	介護人材確保と環境づくり。職場定着と地域定着
総務・財政委員会	6	経営分析、労務管理、事務効率化、規則整備の準備
種別部会（高齢者福祉部会）	5	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
種別部会（障害・児童福祉部会）	6	制度・施策改正情報の収集、事業の評価、課題の抽出、利用者満足度調査
中長期委員会	3	計画策定、状況確認、評価
情報管理委員会		情報システムの適正な利用と運用。情報資産のセキュリティ並びに業務で取り扱う電子データの完全性と安全性を確保する
危機管理委員会	1	感染症対策（BCP策定）（BCP）訓練
安全衛生委員会	1	ストレスチェック制度実施説明
ステップ委員会	3	奉仕作業、地域行事参加、ボランティアコーディネート

## X 国家資格取得状況

(人)

	介護福祉士	介護支援専門員	社会福祉士	精神保健福祉士	看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	保育士
令和3年4月1日	180	33	12	1	11	16	1	1	11	24
令和4年4月1日	188	33	12	1	12	16	1	1	10	22
増減	8	0	0	0	1	0	0	0	-1	-2

XI 令和3年度 地域における公益的な取組

法人本部

取組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
施設開放	4月17日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	4.5	7		
	4月18日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7.5	7	無料	ハツラツ会
	7月8日	夏休みチャレンジボランティア担当者会議	野城ふれあい館マルシェ	2	11	無料	ハツラツ会
	7月13日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2	10	無料	ハツラツ会
	7月17日	夏休みチャレンジボランティア説明会	野城ふれあい館マルシェ	3	30		
	7月25日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7.5	10		
	7月27日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2	10		
	8月1日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7.5	10		
	8月15日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7	20	無料	ハツラツ会
	8月24日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2	10		
	8月28日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7	20	無料	ハツラツ会
	10月12日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2	10	無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	10月17日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	7	20		
	10月26日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2	12	無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	11月7日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館マルシェ	7	7		
	11月9日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2	10	無料	ハツラツ会
	12月14日	認知症予防自主サークル活動	野城ふれあい館マルシェ	2	7	無料	愛媛ミュージック・ケア研究会
	12月20日	喀痰吸引講習会	野城ふれあい館ホール	8	12		
	12月21日	喀痰吸引講習会	野城ふれあい館ホール	8	12		
	12月25日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館ホール	4.5	7	無料	ハツラツ会
1月22日	愛媛ミュージック・ケア研究会研修会	野城ふれあい館マルシェ	5	5			
奨学金事業	令和3年度	1名奨学生に奨学金を貸与				600,000	
就職準備貸付金事業	令和3年度	4名に就職準備貸付金を貸与				1,200,000	
奉仕作業	10月中	法人奉仕作業	野村・城川地区	3	111		

令和3年度 地域における公益的取り組み

野村育成園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
ハート&ハート	12月20日	ミュージック・ケアの実践	城川高川	3時間	1名		
	3月9日		城川中町	3時間	1名		
	3月16日		城川陰の地	3時間	1名		
	3月25日		城川土居	3時間	1名		
幼稚園芋植え	6月15日	芋植え交流	野村育成園	2時間	8名		
幼稚園芋ほり交流	10月29日	芋ほり交流	野村育成園	2時間	8名		

# 令和3年度 ハート&ハート事業報告

## 【確認】

社会福祉法人における地域貢献に向けた「1法人（施設）1実践」活動を実践する。

## 【事業目的】

社会福祉法人の使命である「地域福祉における福祉の増進」の一環として、「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を目指す。  
法人が自ら地域の中に入っていくことで、潜在的な地域のニーズを把握し、法人としての今後のサービスの展開に結び付けていく。  
また法人・個人としての技術・技能を地域に提示していく過程において、そのスキルアップや人材の育成に結び付けていく。

## 【事業内容】

野村町内や城川町内のいきいきサロンに出向き、ミュージック・ケアや和みの場を体験していただく。  
謝礼や講師料、交通費は頂かない。  
ミュージック・ケアについては、その技術を提供できる職員1名と出来る範囲でサブの職員が同行する。

## 【周知方法】

- 1 社協と連携し、町内のいきいきサロン役員へチラシの送付
- 2 地域包括支援センター、生活福祉課への依頼

## 【実施状況】

	実施日	地区名	会場
1	12月20日	城川高川※	高川公民館
2	3月9日	城川町中	集会所
3	3月16日	城川陰の地※	集会所
4	3月25日	城川土居※	集会所

※講師料発生

## 【反省と今後の課題】

今年度もコロナの影響により、依頼はあるが直前で中止となることがあった。  
3月には城川のサロンから依頼があったが予算があるとのことで講師料を頂く形で実施となった。例年、依頼のあるサロンはハート&ハートの事業が引き継がれているようで担当が変わっても依頼があるが、昨年度と今年度は依頼が減少している。新たに事業拡大するためにはいきいきサロンへの宣伝が必要であるとともに、サロンの担い手が減少していることから、法人がコーディネートしていくことも視野に入れ、動いていくことが必要である。

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
公道管理	4月9日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.7名)		
	4月12日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+1.4名)		
	4月14日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.7名)		
	4月23日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.7名)		
	6月1日	剪定作業、片付け	園周辺市道	2時間	2名(+0.6名)		
	6月8日	剪定作業、片付け	園周辺市道	2時間	2名(+0.8名)		
	6月11日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.7名)		
	7月2日	剪定作業、片付け	園周辺市道	2時間	2名(+0.5名)		
	9月28日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.6名)		
	10月4日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.7名)		
	10月21日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.7名)		
	10月22日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+1.2名)		
	11月11日	道路清掃	園周辺市道	2時間	2名(+0.6名)		
	清掃活動	毎月1回	ゴミ拾い	学園・ダム周辺	2時間	3名(+1.4名)	
人材育成	10月12日～10月25日	保育実習生受入 (松山東雲女子大学2名)	野村学園	8時間	6名		10日間かつ90時間以上
	11月22日～11月4日	保育実習生受入 (松山東雲短期大学2名)	野村学園	8時間	6名		10日間かつ90時間以上
エコキヤップ収集	年間通じて	エコキヤップ収集	多数				
	11月22日	エコキヤップ出荷	松山	5時間	1名		
物品貸し出し	7月31日～8月1日	かき水機	緑ヶ丘組				
	8月6日～8月9日	かき水機	ASIソフトボールクラブ				
	11月26日～11月28日	綿菓子機	野村青年団				

令和3年度 地域における公益的な取組

法正園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	費用	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	法正園	-	-	214,318	利用者1名
	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	デイサービスセンターふれあい	-	-	5,355	利用者1名
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用していただく	デイサービスセンターふれあい	1日	-	11,000	利用者11名
なごみホール貸出	4月～1月	西予市社会福祉協議会 規制緩和デイサービス利用	法正園なごみホール	1日	-	無料	月～水曜日 100日利用

令和3年度 地域における公益的な取組

しいのき園

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	特別養護老人ホームしいのき園		-	¥318,738	利用者2名
法人減免	1月～2月	介護福祉サービス費25%軽減	短期入所生活介護事業所しいのき園		-	¥12,322	利用者1名

令和3年度 地域における公益的な取組

寿楽苑

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数	負担費用	備考
法人減免	4月～3月	介護福祉サービス費25%軽減	デイサービスセンター寿楽苑		-		今年度は該当者なし
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用	デイサービスセンター寿楽苑	1日	-	0	4名利用
入浴サービス	4月～3月	障害者生活支援（生きがい事業代替え）	デイサービスセンター寿楽苑	1日	-	50,000	10回利用

令和3年度 地域における公益的な取組

奥伊予荘・惣川高齢者生活福祉センター

取り組み名称	実施月	内容	場所	時間	職員数(人)	負担費用(円)	備考
保育園交流会	10月25日	認定こども園しろかわ保育所芋ほり交流	奥伊予荘	1時間	10人		
お試しデイ	4月～3月	新規利用者に対してお試しで利用案内	惣川高齢者生活福祉センター	1日			案内するが利用者なし

## XII 事業所別事業報告

### 【障がい・児童福祉部】

令和3年度は、障がい・児童福祉部において、今後の在り方を決める第一歩を踏み出す大きな節目の年となりました。

まず、野村育成園では、令和3年8月に建替え申請のための老朽民間社会福祉施設整備計画協議書を提出いたしました。採択の可否は、令和4年7月頃の予定ですが、採択後すぐに動くことが出来るよう、令和3年7月には、就労支援事業所あおぞらの農地の購入も行いました。

現在でも新型コロナウイルスの流行は収まる気配がみられない状況ですが、令和3年度末の野村育成園の利用者平均年齢は63歳4か月であり、一日も早く高齢化、重度化、感染症や災害に対応できる居住環境の整備に向け動いているところです。

野村学園では、県の指導のもと、令和3年7月1日に児童部を本来の障害児入所施設10名と第二障害者支援施設30名の2拠点に移行し、成人部である障害者支援施設40名と合わせて3拠点の事業所となりました。南予地域で唯一の障害児入所施設の運営を行っています。

また両施設ともに、10月から利用者の預り金は立替金を使用する方法に切り替えました。支援員の事務作業の簡略化を図り、コロナ禍の制限、制約が多い中であっても、個別支援計画に基づいたサービス提供を行うことで、支援の質の維持、向上に努めました。大きな行事の計画や実行は出来ませんでした。三密を避け感染予防の基本行動をできるだけ守りながら、屋内外での新しい楽しみを一緒に探すことを心がけて参りました。

また環境面でも、コロナを契機としてZoomやオンライン研修の利用を進め、業務効率化のためのICT活用を進めています。

制約の多い年ではありましたが、今までの歴史や経験を基礎として、次の時代へ進むための足掛かりができたのではと思っています。

### 1. 障害者支援施設野村育成園

#### (1) 行動指針

- ア 利用者の意志及び人格を尊重し、常に相手の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 利用者や家族の意向を把握し、連携してサービスの充実に努めます。
- ウ 笑顔で過ごすことのできる生活の場と活動の場を提供していきます。
- エ 施設や職員の持つ知識、資格を生かし、地域福祉の増進に貢献します。
- オ 信頼される職員、施設、法人となるよう自己研鑽に努めます。

#### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	機能低下防止への取り組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・機能訓練や創作活動、園外歩行等、個々の能力や状態に応じた活動に取り組み、日中活動の充実に努めました。</li><li>・午後は、OTによる個別のリハビリを実施し、定期的なカンファレンスも行いました。</li></ul>
	個別支援計画の充実	<ul style="list-style-type: none"><li>・カンファレンスの為、家族に要望をお聞きし本人だけでなく家族の意向も個別支援計画に取り入れ作成し実践しました。</li><li>・利用者や家族のニーズに基づいたサービスの提供を目指し、コロナ禍でも出来る外出等を実施しました。</li><li>・顧客満足度調査を実施、意向の確認を行いました。</li></ul>

	重点項目	令和3年度取組報告
	ご家族との信頼関係の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>各担当が月に1回は電話連絡を行い、利用者の近況報告を行いました。</li> <li>年4回、家族へ利用者の写真と出納帳のコピーを送付しました。</li> </ul>
	高齢化・看取り対応への基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度喀痰吸引研修はZoomでの研修を行っています。実習自体はコロナウイルス流行により延期となっていますが再開次第随時研修への参加をしていきます。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のサロンに出向くハート&amp;ハートを実施することにより「地域社会とともに歩む社会福祉法人」を意識づけていくことに繋がったと思います。</li> </ul>
	開かれた施設づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みのボランティアの受け入れ実施を行いました。</li> <li>コロナ過ではありましたが、コロナの状況を確認しながら日中一時や短期入所の受け入れを行い地域支援の役割を果たしました。</li> </ul>
福祉人材に関する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護福祉士実務者研修2名、強度行動障害研修7名受講しました。</li> <li>介護支援専門員1名合格しました。</li> <li>介護福祉士国家試験2名合格しました。</li> </ul>
	魅力ある職場作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>成長支援制度を実施し、チーム目標・個人目標を掲げリーダーを中心に一丸となって目標に取り組むことが出来ました。</li> <li>月一回、産業医との面接やストレスチェックを実施。回収率100%を達成しました。</li> </ul>
	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>2ヶ月に1度園内研修を実施し感染症・虐待防止研修、オンラインによる研修等を実施しました。</li> <li>強度行動障害のある利用者の対応を他機関とも協力しながら取り組んでいます。</li> <li>虐待チェックリストを実施し気づきを促しました。</li> <li>介護技術伝達講習で習得した技術を職員間で共有する場を設け支援に生かしています。</li> <li>施設職員が講師となり、研修で学んだことを発表する場を設け、互いに学びを深めています。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	施設入所定員数の確保及び見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年度1名の方が亡くなられて2名退所で実人員減となっていますが補充はしていない状態です。施設建て替え時の定員見直しと合わせて、今後入所受け入れも検討していく予定です。</li> <li>令和4年度に建替える方針を明確にし、それに向けた準備を行っています。</li> </ul>
	人材育成とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>エルダー制度を導入し、人材育成に取り組みました。</li> <li>職員会で法人理念を唱和し周知を図りました。</li> <li>虐待研修28名の職員が参加しました。</li> </ul>

## (3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	その他
4月	園内レクリエーション開催	新人説明会 成長支援チーム目標・個人目標 設定 防火管理、緊急時対応研修	県・南予総会(書面) 出納帳等送付
5月	広報誌発行 希望外出 全園作業 園内レクリエーション開催	前年度・今年度新任者対象研修	家族会役員会 南予ソフトボール大会 (中止)
6月	芋植え交流会(幼稚園) 全園作業 園内レクリエーション開催 調理実習	同行援護 研修 虐待チェックリスト(1回目)実施	南予レクバレー大会 (中止) 家族えがおの集い(中止)
7月	園内レクリエーション開催 コロナワクチン接種 希望外出	強度行動研修 行動援護オンライン研修 成長支援 研修	出納帳等送付
8月	希望外出 コロナワクチン接種	甲種防火講習 成長支援 研修 園内研修 行動援護研修 救命救急講習会(2名受講) 強度行動研修	南予施設福祉施設長会 介護福祉士実務者研修
9月	園内花火大会 調理実習 希望外出 コロナワクチン接種	障害者虐待防止・権利擁護 成長支援 研修 同行援護 研修 防災士研修(2名) 園内職員研修会(障がい特性)	介護技術伝達講習 介護福祉士実務者研修
10月	芋掘り交流会(幼稚園) 広報誌発行 希望外出 お楽しみ給食 園内レクリエーション開催	園内職員研修会 (危険予知・感染症予防) 成長支援チーム目標・個人 目標設定  相談支援者初任者研修 サビ管研修(基礎) 喀痰研修オンライン	出納帳等送付 ワックスがけ 全国施設長会Zoom
11月	インフルエンザ予防接種 希望外出	強度行動研修(基礎) 成長支援 防災士研修(2名) 喀痰研修オンライン	協会内奉仕作業 介護技術伝達講習
12月	クリスマス会 餅つき 希望外出 忘年会 歯科検診(こまどり号)	南予職員合同研修会(中止) 虐待チェックリスト(2回目) 南予企画委員会(書面) 園内職員研修 喀痰研修オンライン 強度行動研修 防災に関する研修会	シェイクアウト愛媛 介護技術伝達講習

月	行事	研修 (OJT)	その他
1月	希望外出 初詣 新年会 歳祝い 広報誌発行 オンラインコンサート	障がい者虐待防止・権利擁護 セミナー	介護技術伝達講習 出納帳等送付
2月	希望外出 節分	県障がい者虐待研修 成長支援 研修 四国地区施設長会 (Zoom)	介護技術伝達講習
3月	希望外出 コロナワクチン レントゲン検査	成長支援 研修 強度行動オンライン研修	家族会 役員会 介護技術伝達講習
毎月	運営委員会、各寮会、支援体制委員会、イベント委員会、生活保健給食環境・安全衛生管理委員会、のいくネットワーク (サービス・苦情・虐待・拘束)、研修委員会 日中活動委員会、身体計測、誕生会メニュー、バイキング昼食、リクエストメニュー 産業医来園		
定期	カンファレンス (6ヶ月毎・入退院時・必要時)、職員会 (4月及び奇数月) エルダー委員会、防災対策委員会		
随時	避難訓練、個別希望外出、嗜好調査、園内職員研修、感染症対策委員会 医療行為対策委員会、入所検討委員会		
毎日	嚥下体操、機能訓練 (機能訓練・軽作業)		

(4) 施設入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,400	2,166	90.3%	99.2%
5	2,480	2,230	89.9%	97.4%
6	2,400	2,152	89.7%	96.3%
7	2,480	2,226	89.8%	93.1%
8	2,480	2,209	89.1%	92.6%
9	2,400	2,160	90.0%	96.1%
10	2,480	2,212	89.2%	96.8%
11	2,400	2,125	88.5%	98.0%
12	2,480	2,172	87.6%	95.8%
1	2,480	2,156	86.9%	93.9%
2	2,240	1,975	88.2%	92.4%
3	2,480	2,160	87.1%	92.5%
合計	29,200	25,943	88.8%	95.3%

## (5) 生活介護利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,760	1,596	90.7%	99.3%
5	1,840	1,662	90.3%	98.0%
6	1,760	1,608	91.4%	96.1%
7	1,840	1,689	91.8%	93.6%
8	1,840	1,680	91.3%	92.3%
9	1,760	1,629	92.6%	96.1%
10	1,840	1,675	91.0%	96.6%
11	1,760	1,597	90.7%	98.2%
12	1,840	1,654	89.9%	97.2%
1	1,840	1,652	89.8%	95.4%
2	1,600	1,436	89.8%	92.1%
3	1,840	1,633	88.8%	92.0%
合計	21,520	19,511	90.7%	95.6%

## (6) 短期入所利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	60	27	45.0%	28.3%
5	62	36	58.1%	30.6%
6	60	27	45.0%	23.3%
7	62	22	35.5%	66.1%
8	62	21	33.9%	72.6%
9	60	22	36.7%	63.3%
10	62	16	25.8%	32.3%
11	60	38	63.3%	25.0%
12	62	37	59.7%	25.8%
1	62	22	35.5%	30.6%
2	56	21	37.5%	25.0%
3	62	27	43.5%	24.2%
合計	730	316	43.3%	37.4%

## (7) 入所者障害支援区分別

(R4年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6	平均支援区分
2	7	32	31	5.3

男性 36名

女性 35名

平均年齢

63歳 4ヶ月

最高齢

86歳

## 2. 共同生活事業所かぜ

### (1) 行動指針

- ア 利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 家庭との結びつきを重視し、ご家族とご利用者の絆を大切にされた支援を行います。また、ご家族への連絡・報告にも気を配ります。
- ウ 利用者の障がいに対する正しい理解とエンパワーメントの視点を大切に、より自立した生活ができるよう、夢を持ち支援を行います。
- エ 地域との結びつきを重視し、誰もが住みやすい地域社会の構築に向けて努力します。
- オ 職員は専門性を高め、相互の連携を密にし良好なチームワークの確立に努め、関係法令を遵守した支援を行います。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者の意向に沿った支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なカンファレンスを実施し、本人の思いを大事にした個別支援計画を作成し、支援の実施に努めました。</li> </ul>
	高齢化・重度化に対応した夜間支援体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きぼうホームの宿直体制継続中。</li> <li>・きぼうホーム利用者1名情緒不安定な状態になる事が時々ある為、宿直職員による対応や電話連絡により、かぜ職員が対応しています。場合により、かぜ職員が宿直業務を交代し、対応する事もあります。</li> <li>・令和3年度においては、利用者への感染症の蔓延はなく、夜間各ホームへの巡視や対応する事はありませんでした。</li> <li>・高齢期を迎えて、移動動作、日常生活において全面的な支援が必要な方が入所されており、利用者の方に安らげる生活の場を提供させて頂きました。今後の課題として、高齢化・重度化に対応する、日中サービス支援型共同生活援助について、情報収集に努め、利用者のより豊かな暮らしを支えていけるよう取り組んでいきます。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	地域住民との協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に続き、新型コロナウイルス感染防止対策として地方祭や地域のイベント等、中止や延期となり、地域の方と交流することができませんでした。</li> <li>・ホームの避難訓練時、隣家、タクシー会社等に協力を依頼し、地域の方々への理解と緊急時の連絡体制を確保できるよう努めています。</li> <li>・地域の方から利用者に関する情報提供があった際には、利用者が持つ障がいの理解と配慮を頂けるよう努めています。</li> </ul>
福祉人材に対する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世話人1名が介護福祉士合格され、世話人間でも資格取得に向けた意欲向上が伺えます。</li> </ul>
	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修として、サービス管理責任者、支援員については野村育成園の職員研修に2ヶ月に1度参加。その他に「世話人研修会」として、「防災」「感染症対策」「虐待」について研修を実施。</li> <li>・世話人研修会として、サービス管理責任者が講師を行い、防災、感染症対策、虐待についての研修会を行いました。</li> <li>・市の保健師に講師を依頼し「新型コロナウイルス感染症に備え対策を学ぶ」についての研修を行いました。</li> </ul>

区 分	重点項目	令和3年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	マネジメント力の向上	・コロナ禍にてリーダー研修、ネクストリーダー研修は中止となりました。
	今後のGHの方向性について	・外部サービス利用型及び、日中サービス支援型の情報収集を行うと共に法人内他事業所との情報交換を行い、事業所として今後の展開、構想等を話し合っています。
	人材育成とコンプライアンスの徹底	・世話人スタッフ会にて業務に対する基本姿勢やモラルについて話し合っています。虐待防止、権利擁護に関する研修を実施しました。

### (3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月		GHスタッフ研修会 (防災)	
5月			
6月	ホーム別希望外出	園内研修会 (虐待)	
7月	ホーム別希望外出 コロナワクチン接種		
8月	定期健診 (中止) コロナワクチン接種		
9月	こまどり号歯科検診(中止) ホーム別希望外出	GHスタッフ研修会 (コロナウイルス感染症対策)	
10月	幼稚園芋堀交流	園内研修会 (感染症)	西予市定期健診(対象者)
11月	インフルエンザ予防接種 ホーム別希望外出	GHスタッフ研修会 (感染症対策について)	
12月	大掃除 利用者忘年会 (ホーム別) クリスマス会 (ホーム別)	GHスタッフ研修会 (冬の感染症対策)	
1月	初詣 (ホーム別)	GHスタッフ研修会 (虐待、権利擁護)	
2月	ホーム別希望外出		レントゲン健診 (全員)
3月	花見 (ホーム別) コロナワクチン接種		
新型コロナウイルス感染防止の為、地域行事や各種イベントが中止となり、事業所での行事も中止やホーム別での対応をした。			
毎月	運営委員会・のいくネットワーク・世話人スタッフ会		
定期	カンファレンス・職員会 (2ヶ月に一回)		
随時	避難訓練・ホーム別外出・内部研修会・法人研修会		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	690	685	99.3%	99.9%
5	713	698	97.9%	99.3%
6	690	689	99.9%	99.7%
7	713	706	99.0%	99.3%
8	713	706	99.0%	98.7%
9	690	683	99.0%	98.3%
10	713	712	99.9%	99.9%
11	690	687	99.6%	98.3%
12	713	697	97.8%	97.3%
1	713	698	97.9%	94.5%
2	644	643	99.8%	99.2%
3	713	711	99.7%	98.0%
合計	8,395	8,315	99.0%	98.5%

入居者支援区分別

(R4年3月末現在)

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
0	4	14	5	0	0

平均区分度 3.04

男性 17名 女性 6名

平均年齢 58.0歳

### 3. ヘルパーステーション・ハート

#### (1) 行動指針

- ア 利用者一人ひとりの人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスの提供に努めます。
- イ 安心・安全なサービスが提供できるよう、知識とスキルの向上を目指し研修や資格取得の機会を設けます。
- ウ いつまでも、その人が望む暮らしが実現できるよう、その人らしく生活できるよう地域生活を支えるお手伝いをします。

#### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者様の意思を尊重し個々に応じたサービスを提供する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅、居住サービス（ホームヘルプサービス・同行援護・行動援護）において、適宜、カンファレンスを実施し、利用者の思いを汲み取り環境に見合った適切なサービスの提供を心掛けています。コロナ感染拡大防止対策の為、地域生活支援事業（移動支援）は実施できませんでした。</li> <li>・強度行動障がい支援者支援計画シートと手順書作成を行いました。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	地域関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同生活事業所(かぜ)・相談支援事業所(こすもす)・野村育成園・他の居宅事業所等と連絡調整、情報交換を緻密に行う事により、円滑な運営やサービスの提供が出来るよう努めました。また、スタッフ間での情報共有にも努めてきました。</li> </ul>
	高齢化と増設に伴う地域グループホームへの派遣業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報収集に努めてきました。</li> </ul>
福祉人材に関する基本姿勢	定着に向けた人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護従業者資格（一般）を取得しました。（1名）</li> </ul>
	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内職員研修に参加しました。</li> <li>・リスクマネージャー研修に参加しました。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	事業拡大と事業所整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規利用者が1名おられました。</li> </ul>
	人材育成とコンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の研修や他機関の講習等、積極的に参加し、資格取得や自己研鑽に努めています。</li> </ul>

(3) 行事報告

月	業 務	研 修 (O J T)	その他 (行事)
4月	居宅介護・同行援護 行動援護		
5月	居宅介護・同行援護 行動援護 移動支援	同行援護 (一般) 研修	・定期健診 (中止)
6月	居宅介護・同行援護 行動援護	虐待チェックリスト (1回目) 実施 園内研修 (虐待・身体拘束)	
7月	居宅介護・同行援護 行動援護		コロナワクチン接種
8月	居宅介護・同行援護 行動援護	園内研修 (接遇・電話対応)	コロナワクチン接種
9月	居宅介護・同行援護 行動援護	「高齢化・看取り」 zoom	
10月	居宅介護・同行援護 行動援護	園内職員研修 (感染症)	
11月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援		
12月	居宅介護・同行援護 行動援護	虐待チェックリスト (2回目) 園内研修 (介護技術・福祉用具) リスクマネージャー養成研修	
1月	居宅介護・同行援護 行動援護		
2月	居宅介護・同行援護 行動援護・移動支援		レントゲン検査
3月	居宅介護・同行援護 行動援護		コロナワクチン接種
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ会 (毎月) ・職員会 ・委員会 ・避難訓練</li> <li>・強度行動障がい支援者養成研修 (随時)</li> <li>・移動支援については、コロナ感染拡大の為実施できませんでした。</li> <li>・常勤、兼務者との連携を図りながら随時、依頼に対応します。</li> </ul>		

(4) 利用状況等

令和3年度サービス実績(延べ件数)		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
居宅介護	家事援助	知的	16	16	1	2	2	2	2	2	2	2	3	2	52
		精神	24	27	27	26	26	25	26	24	23	20	20	24	292
		身体	3	1	1	2	3	0	1	0	0	1	0	0	12
	身体介護		24	20	25	25	0	29	25	25	24	20	8	7	232
	通院等介助		0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	5
同行援護		6	3	9	5	25	6	5	3	11	4	6	7	90	
行動援護		19	12	17	11	5	7	14	12	14	10	14	13	148	
移動支援		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
計		92	80	80	72	61	70	73	69	74	57	51	54	833	

#### 4. 就労支援事業所あおぞら

##### (1) 行動指針

- ア 利用者の尊厳を大切にし、適切な環境のもとそれぞれの能力と特性に応じた支援を行います
- イ 就労や生産活動の機会を適切かつ効果的に提供し、働く喜びや楽しみを共に分かちあいます。
- ウ 福祉的な就労の場、日中活動の場として、一人一人が地域社会で生き生きと生活できるよう支援します。
- エ 法令遵守はもとより、研修会や講習会などに積極的に参加して自己研鑽に努めます。

##### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	利用者主体の活動	・流れ作業の中でそれぞれが得意なところで作業できるように仕組み作りを行い利用者だけの作業環境が出来るようになりました。(例：鉢上げ作業～ポット土入れ、苗植え付け、置き肥等)
	物品・役務の質の向上	・平均工賃19,141円(令和2年度の県内B型事業所平均工賃16,717円)
	就職活動	・令和3年度は就職者はいませんでした。元年度に就職された方は頑張っていて働かれています。
社会に対する基本姿勢	地域の美化協力、ごみ排出困難者支援	・令和4年度もふれあい収集事業の委託を受け事業継続となりました。収集地域が広がっています。(野村町溪筋～城川町川津南) ・企業、個人宅等の除草剪定等を請け負いました。
	地域行事への参加・協力	・あさぎり湖マラソン、青い鳥マーケット等新型コロナの影響で軒並み中止及び参加見合わせとなっています。 ・幼稚園との芋植え芋ほり交流会は屋外での活動だった為、感染対策を行いながら開催することができました。
福祉人材に対する基本姿勢	専門知識の習得(作業支援)	・園内研修等で専門知識の共有を図ることが出来ました。
	支援技術の向上	・園内研修や、毎月のスタッフ会等で支援の問題点等を話し合うことで情報の共有や支援力の向上をはかることができました。

区分	重点項目	令和3年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	経営に対する意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農園芸は直接買い付けに来られる方にご遠慮いただいている分産直への出荷を多くし対応しました。</li> <li>・外部作業は依頼数が多く、地域貢献を含む活動ができました</li> <li>・配食はコロナの影響等で原材料が徐々に上がっています。今後の状況次第で弁当の値上げも検討しています。</li> <li>・農園芸で作った野菜を配食で積極的に使うことで新鮮な野菜を使った弁当の提供及び、支出軽減の両立ができました。</li> </ul>
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物や弁当の品質向上を目指すことが利用者工賃の平均月額にも反映されていると思います。</li> </ul>
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ会の都度、虐待、モラル違反等について話し合いを行い各職員の意識向上に努めました。</li> </ul>

### (3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月	春野菜・花苗販売 果物皮剥ぎ作業 (1月～6月)	成長支援～個人 目標設定	
5月	ふるさとづくり栽培管理		
6月	芋植え交流会 南予福祉施設会	虐待チェックリ スト	
7月	葉牡丹種まき		
8月	定期健診 (利用者・職員)		
9月	ふるさとづくり栽培管理	成長支援～個人 目標振り返り	
10月	幼稚園芋ほり交流 顧客満足度調査	成長支援～個人 目標設定 園内研修 (虐待 防止、感染症対 策)	
11月	玉葱苗販売 インフルエンザ予防接種 定期健診 (2回目)		
12月	大掃除 寄せ植え講習会 (阿下、商工会、 高山公民館)	園内研修 (強度 行動障害) 虐待チェックリ スト (2回目)	
1月	干し芋作り・販売 果物皮剥ぎ作業 (1月～6月)		
2月	春野菜・花苗播種開始	園内研修 (外部 講師)	利用者研修～お金の勉強 会 (オンライン)

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
3月			
毎月	スタッフ会 ふれあい収集 (ごみ排出困難者支援：毎週火、水曜日)		
その他	※ 定期的に大洲・八幡浜圏域の就労支援事業所やハローワーク、就業・生活センター、共同受注窓口等、関係機関との連絡会等に参加し情報を共有している。 ※避難訓練～育成園と合同で実施		

## 5. 相談支援事業所こすもす

### (1) 行動指針

ア特定相談支援事業、障害児相談支援事業（西予市指定）

障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱えるニーズ及び地域課題の解決や適切なサービスの利用に向けて、ケアマネジメントによりきめ細やかな支援を行います。

イ一般相談支援事業(地域移行支援・地域定着支援)（愛媛県指定）

長期入院、入所している方が地域生活へ移行するための支援や、常に連絡がとれる体制を確保し、緊急に支援が必要な事態が生じた際に、緊急訪問や相談などの必要な支援を行い、地域生活の継続を目指します。

ウ西予市委託相談支援事業

相談支援を通じ、西予市障害者(児)の生活の援助を行います。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	本人の思いを重視したサービス等利用計画の作成、モニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談、聞き取りにて利用者の方のニーズをしっかりと把握することで本人が安心して生活出来る計画の作成に努めました。</li> <li>・年間計画作成数：130件</li> <li>・個々に応じた定期的なモニタリングを行い、サービスの起動修正、見直し、支援体制、計画の変更など問題解決に努めました。また、サービス等利用計画に位置付けた福祉サービス事業所等を訪問しサービス提供場面を確認することにも努めました。</li> <li>・年間モニタリング作成数：497件</li> <li>・各市町と連携を図りながら、その方に合った福祉サービスへ繋げることが出来るよう支援に努めています。</li> </ul>
	訪問相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の為定期的な自宅訪問が出来なかった為、電話で様子を伺い現状把握に努めています。問題や依頼があれば随時訪問させて頂き支援しています。</li> <li>・事業所の携帯電話にて24時間365日体制で受け付けています。休日や夜間なども電話相談にて対応できました。</li> <li>・年間相談件数：1,465人</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で各事業所を訪問することができなかったが、電話でサビ管と情報共有を行いました。また、地区担当保健師や医療機関とも連携を図り必要時にはカンファレンス開催し問題解決に努めました。</li> <li>・児童発達支援事業所、特別支援学校との連携を行い、本児及び保護者の意向を汲み取りながら、定期的な学校の進路学習会にも出席し、進路やサービス利用の相談等を行いました。</li> </ul>
	自立支援協議会、基幹相談支援センターの整備に向けた動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月市役所にて実施されている西予市相談支援定例会に出席し現状や困り事等の報告相談を行っていましたが、コロナ禍で中止が続きました。3月にはZOOMにて開催しました。自立支援協議会が開催され、障がい福祉計画の状況確認を行いました。基幹相談支援センターの体制整備については相談支援事業所と横のつながりを強化することで対応していくようです。</li> </ul>

	重点項目	令和3年度取組報告
	法人後見事業の運用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ R2年10月1件 法人後見開始 R4.3.25被後見人死亡により終了となりました。</li> <li>・ R2年11月1件 法人後見開始～現在。</li> <li>・ 月1回の面談はコロナ禍で実施できず、電話などで様子伺いを行いました。</li> </ul>
	精神保健関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八幡浜保健所から会議出席依頼があり医療機関や保健師との情報共有していく予定でしたが、コロナ禍にて会議が中止となりました。</li> </ul>
福祉人材に対する基本姿勢	資格取得の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援専門員 初任者研修と現任研修が新カリキュラムとなり、現任研修については過去5年間に2年以上の実務が必要となること、もしくは現に実務に従事していることが上げられるため相談支援専門員が限定してくるものと思われる。</li> </ul>
	専門知識の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療的ケア児支援者連絡会に参加しました。令和3年9月より医療的ケア児への支援体制整備が「努力義務」から「責務」とされ必要な施策が定められました。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	高齢化に向けた基盤づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者の家族が高齢で共に支援が必要なケースが増えてきました。包括支援センターと連携をとりながら支援することができました。</li> </ul>
	成長支援制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成長支援制度を取り入れて個人目標を立てて取り組みました。</li> </ul>
	コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員会にて法人理念、基本方針を唱和し周知を図りました。</li> <li>・ 虐待防止研修への参加</li> <li>・ 個人情報への取り扱いへの配慮に努めました。</li> </ul>

(3)実施事業報告

月	業務内容	研修 (O J T)	その他
4月	年間を通じて、その都度、利用者に応じた支援を行う	相談定期会議 (1/週) 園内研修 (防火管理)	相談支援定例会 (ｺｺ中止)
5月		相談定期会議	相談支援定例会 (ｺｺ中止) 第1回関係機関連絡会議 (オンライン)
6月	* 計画立案、サービス担当者会議の開催	相談定期会議 園内研修 (虐待・身体拘束)	相談支援定例会 (ｺｺ中止)
7月	* 状況に応じたモニタリングの実施	相談定期会議	相談支援定例会 合同説明会 in なんよ
8月		相談定期会議 園内研修 (接遇)	相談支援定例会 (ｺｺ中止) 第1回地域移行支援会議 (ZOOM)
9月	* 関係機関との連絡調整		特別支援学校進路学習会 (1年) 精神障害者社会復帰連絡会 (ｺｺ中止) 相談支援定例会 (ｺｺ中止)
10月	* 制度についての理解を深める研修への参加	相談定期会議 園内研修 (感染症予防)	相談支援定例会 西予市医療的ｸﾞ児等支援者連絡会
11月	* 自立支援協議会等への積極的な働きかけを行う	相談定期会議	相談支援定例会 (ｺｺ中止) 特別支援学校進路学習会 (3年) 特別支援学校進路学習会 (2年)
12月		相談定期会議 園内研修 (介護技術・福祉用具説明)	相談支援定例会 (ｺｺ中止) 南予相談支援専門員連絡会 八幡浜管内医療的ｸﾞ時支援者連絡会 西予市医療的ｸﾞ児等支援者連絡会 職場の困ったから学ぼうオンライン研修
1月		相談定期会議	相談支援定例会 (ｺｺ中止) 高次脳機能障害支援普及連絡会 (書面開催) 職場の困ったから学ぼうオンライン研修
2月		相談定期会議 園内研修 (ZOOMの使い方)	職場の困ったから学ぼうオンライン研修
3月		相談定期会議	相談支援定例会 (ZOOM) 第2回地域移行支援会議 (書面開催) 第1回自立支援協議会 第2回関係機関連絡会議 (オンライン)

\* 新型コロナウイルスの感染拡大防止にて中止になった研修会、会議もありました。

## 6. 指定障害者支援施設野村学園

### (1) 行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	園内研修のテーマにも取り入れ、職員に周知しているが、より良い支援マニュアル作成のため検討中の段階である。令和4年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	毎月日中活動予定表を作成し、計画的に活動することが出来た。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、施設外での歩行訓練の時間が減少しており施設敷地内での歩行を主に行っている状況である。
	個別支援の充実	想いマップ等を活用し本人の意向に沿った個別支援計画を作成し、実施している。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出制限の期間が長く、施設内での個別支援の充実に取り組んだ。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
	家族との信頼関係の構築	カンファレンス前に全保護者からアンケートを取り個別支援の意向を聞いている。新型コロナウイルスの感染拡大により、保護者のカンファレンス、行事等への参加は中止となっているが、月1回の定期的な連絡は継続して行っている。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	2ヶ月に1回、野村学園周辺、ダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会で、参加・応援・ミストシャワーボランティアを行っていたが、3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。又、感染対策を強化しているため、その他の地域行事への参加も極力取りやめている。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。

区分	重点項目	令和3年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。
	経営マネジメント	福祉型障害児入所施設における移行について、関係機関とも相談し、野村学園児童部の障害児入所施設と障害者支援施設への移行は、令和3年7月1日付で完了する。以降、3事業所で運営を行っている。

(3) 行事報告 (指定障害者支援施設野村学園)

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会(書面決議)	広報誌発行
5月	焼肉大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 朝霧湖マラソン大会：中止 愛媛県障害者スポーツ大会：中止 南予ソフトボール大会：中止 ソフトボール大会(県予選)：中止	第1回園内研修会	保護者会総会 (書面決議)
6月	ボーリング大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 南予バレーボール大会：中止	第2回園内研修会	
7月	火災避難訓練及び消火訓練 県バレーボール大会：中止	県経営青年会第1回研修 委員会(Web) 成長支援リーダー研修会 (Web) 行動援護従業者養成研修 (Web) 四国地区知的障害関係施設長 会議(Web) 第3回園内研修会(救命講習)	
8月	プール遊び(各寮別) 夏祭り お盆休み送迎サービス：中止 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種	南予福祉施設会令和3年度 臨時理事会 全国社会福祉法人経営防災に 関する研修会 行動援護従業者養成研修 (Web)	
9月	芋炊き(児童部) こまどり号歯科検診：中止 花火大会(雨天中止) 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種	野村育成園主催国立のぞみ の園研修会(Web) 県経営青年会第2回研修 委員会(Web) 全国社福経営青年協制度・ 政策マネジメントセミナー (Web) 愛媛県第2回スポーツ委員会 (Web) 新人職員接遇研修(Web) 第4回園内研修会	大瀬中学校交流 (ビデオレター)

月	行 事	研修 (O J T)	その他
10月	芋炊き (成人部) 火災避難訓練及び消火訓練 南予福祉まつり：中止	全国知的障害関係施設長等 会議 (Web) 成長支援中堅職員研修報連相 (Web) 同和教育指導者研修会 普通救命講習 喀痰吸引等基本研修 (Web) 第5回園内研修会	
11月	希望外出：中止 学園祭 (成人部・児童部) 花火大会 マンダリンパイレーツ交流会：中止 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練 乙亥祭外出：中止	新人職員研修会 (Web) 南予職員合同研修会 西予市人権のつどい 成長支援中堅職員研修報連相 (Web) 成長支援オンライン巡回 (Web) 松山東雲短期大学実習 喀痰吸引等基本研修 (Web) 第6回園内研修会	第1回保護者会 役員会 広報誌発行
12月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 イルミネーション点灯式 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止	喀痰吸引等基本研修 (Web) リスクマネジメント研修 (Web) 第7回園内研修会 喀痰吸引等基本研修 (Web) 四国地区知的障害者関係職員 研修会 (Web) 南予企画委員会 成長支援中堅職員研修 (メン タルタフネス) (Web) 強度行動障がい支援者養成 研修 (基礎)	
1月	初詣 火災避難訓練及び消火訓練 利用者・職員健康診断：中止	南予福祉施設会第2回理事会 愛媛県新型コロナウイルス 感染症対策研修 (Web) 第8回園内研修会 サービス管理責任者更新研修	広報誌発行
2月	節分豆まき もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会議 (Web) 愛媛県経営青年会令和3年度 第2回会議 (Web) サービス管理責任者更新研修	
3月	焼肉大会 (児童部・成人部) 利用者・職員健康診断 (胸部レント ゲン) 火災避難訓練及び消火訓練	出産・育児の諸制度研修 第9回園内研修会 (事例発表) 成長支援オンライン巡回	
毎 月 行 事	※職員会、各寮会 ※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会 (年4回) 広報委員会 (随時) 苦情解決虐待防止委員会 (随時)		

(4) 利用者利用状況等

○施設入所利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,140	95.0%	99.1%
5	1,240	1,204	97.1%	99.5%
6	1,200	1,133	96.8%	99.0%
7	1,240	1,188	98.3%	98.0%
8	1,240	1,177	97.4%	96.2%
9	1,200	1,165	99.6%	98.7%
10	1,240	1,199	99.2%	99.0%
11	1,200	1,157	98.9%	98.4%
12	1,240	1,206	97.3%	95.9%
1	1,240	1,194	96.3%	96.4%
2	1,120	1,105	98.7%	97.6%
3	1,240	1,209	97.5%	98.6%
合計	14,600	14,077	97.7%	98.0%

○生活介護利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	880	836	95.0%	99.2%
5	920	894	97.2%	99.5%
6	880	832	97.0%	99.0%
7	920	884	98.5%	98.3%
8	920	874	97.4%	96.9%
9	880	854	99.5%	98.8%
10	920	886	98.8%	99.1%
11	880	848	98.8%	98.5%
12	920	907	98.6%	97.4%
1	920	906	98.5%	99.0%
2	800	791	98.9%	97.6%
3	920	897	97.5%	98.5%
合計	10,760	10,596	98.5%	98.5%

入所者障害支援区分別

(R4年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	3	12	25

平均支援区分 5.55

男性 22名 女性 18名

平均年齢 47.8歳

## 7. 第二障害者支援施設野村学園

### (1) 行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	園内研修のテーマにも取り入れ、職員に周知しているが、より良い支援マニュアル作成のため検討中の段階である。令和4年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	毎月日中活動予定表を作成し、計画的に活動することが出来た。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、施設外での歩行訓練の時間が減少しており施設敷地内での歩行を主に行っている状況である。
	個別支援の充実	想いマップ等を活用し本人の意向に沿った個別支援計画を作成し、実施している。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出制限の期間が長く、施設内での個別支援の充実に取り組んだ。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
	家族との信頼関係の構築	カンファレンス前に全保護者からアンケートを取り個別支援の意向を聞いている。新型コロナウイルスの感染拡大により、保護者のカンファレンス、行事等への参加は中止となっているが、月1回の定期的な連絡は継続して行っている。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	2ヶ月に1回、野村学園周辺、ダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会で、参加・応援・ミストシャワーボランティアを行っていたが、3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。又、感染対策を強化しているため、その他の地域行事への参加も極力取りやめている。
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。

区分	重点項目	令和3年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。
	経営マネジメント	福祉型障害児入所施設における移行について、関係機関とも相談し、野村学園児童部の障害児入所施設と障害者支援施設への移行は、令和3年7月1日付で完了する。以降、3事業所で運営を行っている。

(3) 行事報告 (第二障害者支援施設野村学園)

月	行事	研修 (OJT)	その他
4月	利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会(書面決議)	広報誌発行
5月	焼肉大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 朝霧湖マラソン大会：中止 愛媛県障害者スポーツ大会：中止 南予ソフトボール大会：中止 ソフトボール大会(県予選)：中止	第1回園内研修会	保護者会総会 (書面決議)
6月	ボーリング大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 南予バレーボール大会：中止	第2回園内研修会	
7月	火災避難訓練及び消火訓練 県バレーボール大会：中止	県経営青年会第1回研修 委員会(Web) 成長支援リーダー研修会 (Web) 行動援護従業者養成研修 (Web) 四国地区知的障害関係施設長 会議(Web) 第3回園内研修会(救命講習)	
8月	プール遊び(各寮別) 夏祭り お盆休み送迎サービス：中止 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種	南予福祉施設会令和3年度 臨時理事会 全国社会福祉法人経営防災に 関する研修会 行動援護従業者養成研修 (Web)	

月	行 事	研修 (O J T)	その他
9月	芋炊き (児童部) こまどり号歯科検診：中止 花火大会 (雨天中止) 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種	野村育成園主催国立のぞみの園研修会 (Web) 県経営青年会第2回研修委員会 (Web) 全国社福経営青年協制度・政策マネジメントセミナー (Web) 愛媛県第2回スポーツ委員会 (Web) 新人職員接遇研修 (Web) 第4回園内研修会	大瀬中学校交流 (ビデオレター)
10月	芋炊き (成人部) 火災避難訓練及び消火訓練 南予福祉まつり：中止	全国知的障害関係施設長等会議 (Web) 成長支援中堅職員研修報連相 (Web) 同和教育指導者研修会 普通救命講習 喀痰吸引等基本研修 (Web) 第5回園内研修会	
11月	希望外出：中止 学園祭 (成人部・児童部) 花火大会 マンダリンパイレーツ交流会：中止 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練 乙亥祭外出：中止	新人職員研修会 (Web) 南予職員合同研修会 西予市人権のつどい 成長支援中堅職員研修報連相 (Web) 成長支援オンライン巡回 (Web) 松山東雲短期大学実習 喀痰吸引等基本研修 (Web) 第6回園内研修会	第1回保護者会 役員会 広報誌発行
12月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 イルミネーション点灯式 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止	喀痰吸引等基本研修 (Web) リスクマネジメント研修 (Web) 第7回園内研修会 喀痰吸引等基本研修 (Web) 四国地区知的障害者関係職員研修会 (Web) 南予企画委員会 成長支援中堅職員研修 (メンタルタフネス) (Web) 強度行動障がい支援者養成研修 (基礎)	
1月	初詣 火災避難訓練及び消火訓練 利用者・職員健康診断：中止	南予福祉施設会第2回理事会 愛媛県新型コロナウイルス感染症対策研修 (Web) 第8回園内研修会 サービス管理責任者更新研修	広報誌発行

月	行事	研修 (OJT)	その他
2月	節分豆まき もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会議 (Web) 愛媛県経営青年会令和3年度 第2回会議 (Web) サービス管理責任者更新研修	
3月	焼肉大会 (児童部・成人部) 利用者・職員健康診断 (胸部レント ゲン) 火災避難訓練及び消火訓練	出産・育児の諸制度研修 第9回園内研修会 (事例発表) 成長支援オンライン巡回	
毎月 行事	※職員会、各寮会 ※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会 (年4回) 広報委員会 (随時) 苦情解決虐待防止委員会 (随時)		

#### (4) 利用者利用状況等

##### ○施設入所利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	840	840	100.0%	100.0%
5	868	868	100.0%	99.9%
6	840	819	97.5%	97.7%
7	930	823	88.5%	95.9%
8	930	868	93.3%	93.8%
9	900	861	95.7%	99.9%
10	930	895	96.2%	99.5%
11	900	861	95.7%	99.1%
12	930	855	91.9%	97.9%
1	930	852	91.6%	96.0%
2	840	796	94.8%	100.0%
3	930	899	96.7%	99.9%
合計	10,768	10,237	95.1%	98.3%

##### ○生活介護利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	616	616	100.0%	100.0%
5	644	643	99.9%	99.8%
6	616	602	97.7%	97.7%
7	690	607	88.0%	95.8%
8	690	644	93.3%	95.0%
9	660	631	95.6%	99.7%
10	690	662	95.9%	99.0%
11	660	629	95.3%	98.6%
12	690	638	92.5%	95.8%
1	690	637	92.3%	97.9%
2	600	568	94.7%	99.8%
3	690	667	96.7%	99.7%
合計	7,936	7,544	95.1%	98.2%

入所者障害支援区分別

(R4年3月末現在)

区分3	区分4	区分5	区分6
0	2	5	22

平均支援区分 5.69

男性 22名          女性 7名

平均年齢 35.3歳

## 8. 障害児入所施設野村学園

### (1) 行動指針

- ア 生きがいのある生活ができるよう利用者の意志を尊重しともに歩みます。
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 利用者・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	プライバシー保護	園内研修のテーマにも取り入れ、職員に周知しているが、より良い支援マニュアル作成のため検討中の段階である。令和4年度以降も継続して取り組んでいく予定である。
	日中活動の充実	毎月日中活動予定表を作成し、計画的に活動することが出来た。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、施設外での歩行訓練の時間が減少しており施設敷地内での歩行を主に行っている状況である。
	個別支援の充実	想いマップ等を活用し本人の意向に沿った個別支援計画を作成し、実施している。今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、外出制限の期間が長く、施設内での個別支援の充実に取り組んだ。
	生活環境・利用環境の向上	個別の空間作りに取り組みパーテーション等を利用して仕切りを作ったことで、一人のスペースが確保されている。施設が老朽化してきており、可能な限り修繕をして対応している。
	家族との信頼関係の構築	カンファレンス前に全保護者からアンケートを取り個別支援の意向を聞いている。新型コロナウイルスの感染拡大により、保護者のカンファレンス、行事等への参加は中止となっているが、月1回の定期的な連絡は継続して行っている。
社会に対する基本姿勢	ボランティア活動	2ヶ月に1回、野村学園周辺、ダム周辺の清掃ボランティアを実施している。日中活動でも、定期的に道路清掃を行い、周辺道路の清掃活動を実施している。
	地域行事への参加	例年、あさぎり湖マラソン大会で、参加・応援・ミストシャワーボランティアを行っていたが、3年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い大会自体が中止となっている。又、感染対策を強化しているため、その他の地域行事への参加も極力取りやめている。
	関係機関との連携強化	関係市町村及び福祉総合支援センター、相談支援専門員等との連携を図り、高等部卒業後の移行先を本人の望む生活に向けて検討を行っている。今年度は、高等部卒業の1名を障害者支援施設へ移行することが出来た。

区 分	重点項目	令和3年度取組報告
福祉人材に対する基本姿勢	魅力ある職場づくり	各部署でチーム目標設定を行った。又、個人目標を立て役割を明確にする事で全員が目標達成に向けて取り組むことが出来た。成長支援制度を通じて、現在の職場環境を見直す良いきっかけになった。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	諸規則・諸規程綴りは職員室に置いてあり、誰でも確認出来るようになっている。また、パソコンの共有ホルダーの中には最新のデータが入力されている。
	経営マネジメント	福祉型障害児入所施設における移行について、関係機関とも相談し、野村学園児童部の障害児入所施設と障害者支援施設への移行は、令和3年7月1日付で完了する。以降、3事業所で運営を行っている。

(3) 行事報告 (障害児入所施設野村学園)

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	利用者内科検診 火災避難訓練及び消火訓練	新年度事業計画と施設方針周知 県総会(書面決議) 南予理事会・総会(書面決議)	広報誌発行
5月	焼肉大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 朝霧湖マラソン大会：中止 愛媛県障害者スポーツ大会：中止 南予ソフトボール大会：中止 ソフトボール大会(県予選)：中止	第1回園内研修会	保護者会総会 (書面決議)
6月	ボーリング大会(成人部・児童部) 火災避難訓練及び消火訓練 南予バレーボール大会：中止	第2回園内研修会	
7月	火災避難訓練及び消火訓練 県バレーボール大会：中止	県経営青年会第1回研修 委員会(Web) 成長支援リーダー研修会 (Web) 行動援護従業者養成研修 (Web) 四国地区知的障害関係施設長 会議(Web) 第3回園内研修会(救命講習)	
8月	プール遊び(各寮別) 夏祭り お盆休み送迎サービス：中止 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種	南予福祉施設会令和3年度 臨時理事会 全国社会福祉法人経営防災に 関する研修会 行動援護従業者養成研修 (Web)	

月	行事	研修（OJT）	その他
9月	芋炊き（児童部） こまどり号歯科検診：中止 花火大会（雨天中止） 火災避難訓練及び消火訓練 新型コロナウイルスワクチン接種	野村育成園主催国立のぞみの園研修会（Web） 県経営青年会第2回研修委員会（Web） 全国社福経営青年協制度・政策マネジメントセミナー（Web） 愛媛県第2回スポーツ委員会（Web） 新人職員接遇研修（Web） 第4回園内研修会	大瀬中学校交流（ビデオレター）
10月	芋炊き（成人部） 火災避難訓練及び消火訓練 南予福祉まつり：中止	全国知的障害関係施設長等会議（Web） 成長支援中堅職員研修報連相（Web） 同和教育指導者研修会 普通救命講習 喀痰吸引等基本研修（Web） 第5回園内研修会	
11月	希望外出：中止 学園祭（成人部・児童部） 花火大会 マンダリンパイレーツ交流会：中止 インフルエンザ予防接種 火災避難訓練及び消火訓練 乙亥祭外出：中止	新人職員研修会（Web） 南予職員合同研修会 西予市人権のつどい 成長支援中堅職員研修報連相（Web） 成長支援オンライン巡回（Web） 松山東雲短期大学実習 喀痰吸引等基本研修（Web） 第6回園内研修会	第1回保護者会役員会 広報誌発行
12月	希望外出：中止 火災避難訓練及び消火訓練 イルミネーション点灯式 クリスマス会 大掃除 年末年始送迎サービス：中止	喀痰吸引等基本研修（Web） リスクマネジメント研修（Web） 第7回園内研修会 喀痰吸引等基本研修（Web） 四国地区知的障害者関係職員研修会（Web） 南予企画委員会 成長支援中堅職員研修（メンタルタフネス）（Web） 強度行動障がい支援者養成研修（基礎）	
1月	初詣 火災避難訓練及び消火訓練 利用者・職員健康診断：中止	南予福祉施設会第2回理事会 愛媛県新型コロナウイルス感染症対策研修（Web） 第8回園内研修会 サービス管理責任者更新研修	広報誌発行

月	行事	研修 (OJT)	その他
2月	節分豆まき もちつき大会 火災避難訓練及び消火訓練	四国地区施設長会議 (Web) 愛媛県経営青年会令和3年度 第2回会議 (Web) サービス管理責任者更新研修	
3月	焼肉大会 (児童部・成人部) 利用者・職員健康診断 (胸部レント ゲン) 火災避難訓練及び消火訓練	出産・育児の諸制度研修 第9回園内研修会 (事例発表) 成長支援オンライン巡回	
毎月 行事	※職員会、各寮会 ※運営委員会、自立支援衛生推進委員会、安全防災対策・事故防止委員会 保健給食環境委員会、企画地域交流委員会、日中活動委員会 エルダー委員会 (年4回) 広報委員会 (随時) 苦情解決虐待防止委員会 (随時)		

(4) 障害児入所施設利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	330	270	81.8%	100.0%
5	330	270	84.5%	100.0%
6	330	270	81.8%	100.0%
7	310	289	93.2%	100.0%
8	310	279	90.0%	99.6%
9	300	270	90.0%	99.5%
10	310	279	90.0%	99.6%
11	300	260	86.6%	100.0%
12	310	272	87.7%	94.2%
1	310	273	88.0%	100.0%
2	280	279	99.6%	100.0%
3	310	310	100.0%	92.6%
合計	3,730	3,330	89.3%	98.8%

(R4年3月末現在)

男性 8名          女性 2名

平均年齢 12.1歳

## 9. 放課後児童健全育成事業所のむらキッズ・しろかわキッズ

### (1) 行動指針

- ア 児童の健全な育成を図るための支援ができるよう、児童の気持ちを理解しともに歩みまい
- イ 家族等との連絡を密にし、絆をともに深めます。
- ウ 児童・職員の夢が叶うようともに邁進します。
- エ 地域行事に参加し地域社会をともに築きます。
- オ 決められたことを守り個人・事業所・法人の成長をともに目指します。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	職務遂行に必要な知識・技術の習得、資質向上	放課後児童支援員資質向上研修や西予市主催の感染症対策研修に参加することができた。また、救命講習等の研修も行い職員の資質向上を図った。
	活動内容の充実	例年行われているレインボーフェスタは中止されたが、夏休みには川遊びと、夏祭りを実施した。コロナ禍で地域の行事やプールが中止になっていたため、キッズで夏祭りや川遊びができて子どもたちも楽しい時間が過ごせたと思う。
	保護者との信頼関係の構築	毎月キッズ便りを発行し、キッズの情報を保護者に伝えると共に、ご家族が来所された時に児童の様子を伝えて情報交換を行った。キッズ職員への不信感を持たれた事例があり、きちんとした対応ができるよう話し合いやマニュアル作成を行った。
	安全な環境の提供	夏に他の事業にて感染症（腸管出血性大腸菌）が発生したことによりキッズにも陽性者がでました。保健所の指示のもと、室内や玩具の消毒の徹底を行った。キッズにおいては大流行することなく落ち着くことができた。また、新型コロナウイルス感染症への対策として基本的対策（マスクの着用・換気・手洗い）の徹底にも務めた。
社会に対する基本姿勢	放課後児童健全育成事業の理解と周知を図る	ホームページの更新が少なく定期的に更新することが出来なかった。
	市や関係他機関との連携を図る	小学校との情報交換会はコロナ禍ということもあり実施できなかったが、個人の児童のことでは相談に乗って頂き情報を共有することができた。また、西予市福祉総合相談センターとも情報共有することができた。 西予市子ども子育て会議に参加し他機関との情報交換を行った。 西予市放課後子ども総合プラン運営委員会はコロナ禍の中で中止となった。
福祉人材に対する基本姿勢	児童福祉施設最低基準38条に基づく有資格者の確保	有資格者の職員を確保することは出来なかった。
	児童支援員の確保	のむらキッズ職員1名・野村学園兼務者1名が、放課後児童支援員認定資格を取得できた。
マネジメントに対する基本姿勢	協会理念の周知徹底	職員会等を通じて、理念、基本姿勢の周知を行った。 守秘義務や個人情報適切に扱い、事業の社会的責任や公共性を自覚できるように努めました。

(3) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所のむらキッズ)

月	行 事	研修 (O J T)	その他
4月			
5月			
6月		救命救急講習	
7月			
8月	川遊び・夏祭り		放課後子ども総合プラン運営委員会 (中止)
9月			
10月		感染症対策研修 (リモート) 放課後児童支援員認定研修	
11月		放課後児童支援員認定研修	西予市子ども・子育て会議
12月	クリスマス会 大掃除	放課後児童支援員資質向上研修	
1月			
2月			新入学児募集
3月			放課後子ども総合プラン運営委員会 (中止)
毎月	避難訓練	職員会	キッズ便り発行

(4) 行事報告 (放課後児童健全育成事業所しろかわキッズ)

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月			
5月			
6月		救命救急講習	
7月	夏祭り		
8月	川遊び		放課後子ども総合プラン運営委員会 (中止)
9月			
10月		感染症対策研修 (リモート) 放課後児童支援員認定研修	
11月		放課後児童支援員認定研修	西予市子ども・子育て会議
12月	クリスマス会 大掃除	放課後児童支援員資質向上研修	
1月			
2月			新入学児募集
3月			放課後子ども総合プラン運営委員会 (中止)
毎月	避難訓練	職員会	キッズ便り発行

(5) 利用者状況等

のむらキッズ

1、利用学童数 (延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年度	612	538	888	835	714	776	878	720	771	694	694	822
3年度	990	819	908	878	710	686	881	839	848	778	690	862
	合計											
	2年度 8,942											
	3年度 9,889											

## 2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
2年度	男児	8	9	4	1	0	2	24
	女児	9	10	11	4	0	2	36
	合計	17	19	15	5	0	4	60
3年度	男児	7	6	5	3	0	0	21
	女児	11	6	8	9	3	0	37
	合計	18	12	13	12	3	0	58

## しろかわキッズ

### 1、利用学童数（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2年度	226	166	279	263	238	201	250	219	227	183	168	197	
3年度	184	157	167	146	144	113	143	139	137	124	119	122	
												合計	
												2年度	2,617
												3年度	1,695

## 2、登録児童数

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
2年度	男児	5	0	3	1	0	0	9
	女児	1	0	5	1	2	0	9
	合計	6	0	8	2	2	0	18
3年度	男児	2	5	0	2	1	0	10
	女児	1	1	0	2	0	0	4
	合計	3	6	0	4	1	0	14

## XIII 事業所別事業報告

### 【高齢者福祉部会】

令和3年度、介護の現場においては、2021年改正された介護保険法への対応や、新型コロナウイルス感染症等から、入所者・利用者を守るための取り組みの実施など、迅速かつ適切な組織体制の強化・改革に取り組むことが求められています。また、地域とのかかわりにおいては、社会経済・家族形態等の変化に伴い、多様化・複雑化する福祉ニーズへの対応や社会貢献が求められています。

新型コロナウイルス感染は、感染力の高い変異株によって爆発的に感染が拡大しつつは、当法人の高齢者施設においても感染の報告がありました。しかし、感染拡大を最小限に抑えた形で終息を迎えられたのは、高齢者福祉施設の常日頃からの感染予防に対する意識の高さと、法人が一丸となり、全面的な支援を迅速に行えたためと思っております。

コロナ禍は、施設運営にも大きく影響しております。面会の規制についても、ご家族の皆様には永らく不便を強いる形になっております。行事やレクリエーションの開催の可否についても、直前まで感染状況を見極めながら判断をしなければなりませんでした。また、各施設とも機器の老朽化が進んでおり、定期的な点検や計画的な改修工事を予定しておりましたが、コロナ禍の影響で本年度も必要最小限の点検や修繕しか行えませんでした。

入所者・利用者への支援については、各事業所ともコロナ禍という厳しい状況下ではありますが、サービスの質を落とす事なく工夫をこらした様々な取り組みを行いました。

最後に、介護技能実習生1期生についてですが、令和3年1月末の雇用から受入施設職員だけでなく法人全体の支援により、技能面、生活面でも大きく成長し、施設の大事な人財のひとりとして活躍しています。1期生の順調な成長を受け、令和3年度には2期生2名と3期生2名の受入が決まっておりましたが、これらもコロナ禍の影響で入国が大幅に遅れており、令和3年度内の雇用となりませんでした。

高齢者福祉部会としての報告は、以上でございます。

なお、法正園・しいのき園、寿楽苑、奥伊予荘、各事業所の事業報告につきましては、それぞれお目通し下さい。

# 1. 特別養護老人ホーム法正園

## (1) 行動指針

「あなたの笑顔が私の笑顔です」

### ①人権の尊重

わたしたちは、利用者一人ひとりの尊厳を大切に、安心できる生活環境を創出します。

### ②人材育成

わたしたちは、常に知識とスキルの向上を目指し、感謝の気持ちと笑顔を絶やすことなく自らを成長させることのできる職場作りに努めます。

### ③地域への貢献

わたしたちは、社会事業を通して、地域の人々が安心して住み続けられる社会づくりに貢献します

## (2) 事業報告

区分	取組み(詳細)	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。</li> <li>・身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、特に問題はありませんでした。</li> </ul>
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年に受審した第三者評価の指摘事項等について継続した改善を行いました。</li> <li>・入居者及び家族に対してサービス満足度調査を実施しました。概ね満足していただきました。</li> <li>・毎月請求書等送付する文書に、各担当が手書きで近況を伝えたり、写真を同封する取り組みを行い、コロナ禍で面会が少なくなった家族との関係の継続に努めています。</li> </ul>
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で、介護講座や夕涼み会での交流はできませんでしたが、花壇整備や車椅子の清掃など直接入居者と関わらずにできることをボランティア活動として取り組んでもらいました。また、入居者や家族、ボランティア、地域の方々に無料抗原検査のチラシを配布し、希望者に対してなごみホールで検査を行いました。</li> </ul>
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子は、モジュール型車椅子2台、フルリクライニング車椅子等2台購入しました。</li> <li>・計画していた低床ベッドへの購入は、ベッドが故障しなかったため買い替えませんでした。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なごみホールの地域開放として、西予市社会福祉協議会の規制緩和通所事業に感染対策期間以外、週3日年間100日間貸し出しました。</li> <li>・ボランティアは、西予市社会福祉協議会と協力して「西予市生き生きシニアポイントモデル事業」参加者を、感染対策期間以外定期で1グループ受け入れました。</li> <li>・保育所等との交流会を計画しましたが中止しました。</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌は3回発行しました。</li> <li>・ホームページのブログについては、随時更新しました。</li> <li>・第三者評価の結果を愛媛県ホームページにて公表しました。</li> </ul>

区分	取組み(詳細)	令和3年度取組報告
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。</li> <li>・各種マニュアルの見直しを継続して実施しています。</li> </ul>
	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人技能実習生としてミャンマーから2名受入れ、介護技術や日本語の指導、生活支援等を行っています。</li> <li>・夏休みチャレンジボランティアの受入れは、入所者様との接触を避ける形で受入れを行いました。</li> <li>・野村高校出前講座はコロナ禍で中止しました。</li> </ul>
	人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末でのリモート朝礼等を導入していたことで感染時にスムーズに業務連絡を取り合うことができました。</li> <li>・リフト浴機器の導入で、特殊浴槽利用者が減り、入居者や介護職員の負担を軽減することが出来ました。</li> <li>・健康診断とストレスチェックを実施しました。</li> <li>・職員互助会は、全ての予定が中止となりました。</li> <li>・外国人技能実習生に対し週1回日本語学習を支援し、日本語検定N3を1名取得することができました。</li> </ul>
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。</li> <li>・各研修については、リモート研修を中心に受講しました。</li> <li>・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。</li> <li>・介護技術向上研修に2名参加し、施設内で介護教室（介護マイスター）を行いました。</li> <li>・ユニットリーダー研修を1名受講しましたが、実地研修はコロナ禍で実施時期未定です。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。</li> </ul>
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正収益の確保のため、空床期間の短縮、短期入所の空床利用の促進、要介護度の適正化に取り組みましたが、コロナ感染で空床期間が長くなり、稼働率が予定より低くなりました。</li> <li>・口腔ケア加算は、感染対策期間で歯科医が来園できなくても書面等でやり取りを行い、加算を継続することができました。</li> </ul>

### (3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
4月		新任職員研修 個人情報保護研修 ハラスメント研修 成長支援目標設定研修	
5月	家族ふれあいデー(中止) 家族会総会(書面) 健康診断(延期) 西予市老施協合同遠足(中止)	口腔ケア研修 新人研修	広報誌発行第249号 浴室ガス給湯器修繕 厨房フライヤー・空調設備修繕
6月	保育所交流会(中止) なごみホール介護教室(中止)	感染症(コロナ等)研修 食中毒予防研修 法人新人研修 個人情報保護研修	リクライニング車椅子2台購入 屋外排水管破損修繕工事
7月		ユニットケア研修 看取りケア研修 法人リーダー研修 ポジショニング研修	

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
8月	夏まつり(園内のみ)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	社協チャレンジボランティア受入
9月	秋の法要(人数制限)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 事故防止研修	成長支援スキルチェック
10月	敬老会(人数制限) 西予市老施協演芸大会(中止)	救命救急講習(一部職員) 認知症介護基礎研修 老施協感染症研修 成長支援評価者研修	顧客満足度調査 協会奉仕作業
11月	職員ストレスチェック 夜間避難訓練 なごみホール介護教室(中止)	認知症ケア研修 成長支援研修 コロナ感染症対策研修 介護技術向上講習会 新人職員接遇研修	広報誌発行第250号
12月	クリスマス会(各ユニット) 入居者忘年会(各ユニット) シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 大掃除(ボラ参加)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 認知症ケア研修 成長支援研修 防災士研修	
1月	お年とり 初詣外出  コロナ感染	褥瘡対策研修 ポジショニング研修	コロナ感染保健所立入指導
2月	節分行事(各ユニット) コロナ感染症対策で面会禁止		コロナ感染保健所立入指導 入所施設一斉抗原検査
3月	春の法要(人数制限) 避難・消火訓練 入居者レントゲン検診	今年度運営状況発表	広報誌発行第251号 無料抗原検査実施
毎月	職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サービス、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会、あかし歯科検診		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、入所検討委員会(4、7、10、1月) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、OJT委員会 セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(火・水)、歯科検診(毎月1回)		
随時	各ユニット食事会(誕生会)、行事食、地域行事外出、里帰り、交流会(中止) 感染対策委員会、避難訓練、各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,465	97.7%	100.0%
5	1,550	1,479	95.4%	98.6%
6	1,500	1,451	96.7%	98.1%
7	1,550	1,511	97.5%	98.9%
8	1,550	1,521	98.1%	95.7%
9	1,500	1,377	91.8%	94.9%
10	1,550	1,441	93.0%	97.4%
11	1,500	1,483	98.9%	96.3%
12	1,550	1,497	96.6%	98.3%
1	1,550	1,494	96.4%	96.1%
2	1,400	1,323	94.5%	96.9%
3	1,550	1,463	94.4%	99.8%
合計	18,250	17,811	95.9%	97.6%

利用者要介護度別

(R4年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	1	5	19	25

平均介護度 4.36  
男性 12名 女性 38名  
平均年齢 89.2歳

## 2. 短期入所生活介護事業所法正園

### (1) 行動指針

在宅要介護高齢者の利用ニーズに応えるため、利用者主体のサービスを念頭に居宅介護支援事業者や家族との緊密な連携に努めます。また、サービスを提供することにより、家族の身体的精神的負担の軽減を図るとともに利用者の社会的孤立感を解消し、生活の助長を図ることを目的とします。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権擁護研修の実施と、虐待チェックリストを活用した研修を行いました。</li> <li>・身体拘束廃止と虐待防止については、毎月委員会で検討しましたが、特に問題はありませんでした。</li> </ul>
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県の指導監査(特養)および第三者評価を受け、指摘事項等について改善しました。</li> <li>・利用者及び家族に対してサービス満足度調査を実施しました。概ね満足していただけていました。</li> <li>・利用者の自宅居室に近いレイアウトや生活の流れに合わせて対応し、居心地よく過ごしていただきました。</li> <li>・利用開始日には、迎え時に検温を実施しました。</li> </ul>
	家族との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用される前日には電話連絡し、健康状態や家族の行動等把握し感染対策を行いました。</li> <li>・送迎時間等確認し、家族に合わせ柔軟に対応しました。</li> <li>・家族や居宅ケアマネと連携を密にし、できるだけ家庭と同じ対応を行いました。</li> </ul>
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の家族等を対象にした、介護に関する講習会を計画していましたが、コロナ禍で実施できませんでした。</li> </ul>
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用される居室を自宅居室に近いレイアウトにするために畳や低床ベッド、ポータブルトイレ等準備し、環境作りを行いました。</li> <li>・普通型車椅子をモジュール型車椅子に買い替え、移乗時の安全性が向上しました。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等との交流会を計画しましたが中止しました。</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌は3回発行しました。</li> <li>・ホームページのブログについては、随時更新しました。</li> <li>・第三者評価の結果を愛媛県ホームページにて公表しました。</li> </ul>
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。</li> <li>・各種マニュアルの見直しを継続して実施しています。</li> </ul>
	人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人技能実習生としてミャンマーから2名受入れ、介護技術や日本語の指導、生活支援等を行っています。</li> <li>・夏休みチャレンジボランティアの受入れは、入所者様との接触を避ける形で受入れを行いました。</li> <li>・野村高校出前講座はコロナ禍で中止しました。</li> </ul>

重点項目	令和3年度取組報告	
人材の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末でのリモート朝礼等を導入していたことで感染時にスムーズに業務連絡を取り合うことができました。</li> <li>・リフト浴機器の導入で、特殊浴槽利用者が減り、入居者や介護職員の負担を軽減することが出来ました。</li> <li>・健康診断とストレスチェックを実施しました。</li> <li>・職員互助会は、全ての予定が中止となりました。</li> <li>・外国人技能実習生に対し週1回日本語学習を支援し、日本語検定N3を1名取得することができました。</li> </ul>	
人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護福祉士資格取得に向け職員に情報提供を行いました。</li> <li>・各研修については、リモート研修を中心に受講しました。</li> <li>・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。</li> <li>・介護技術向上研修に2名参加し、施設内で介護教室（介護マイスター）を行いました。</li> <li>・ユニットリーダー研修を1名受講しましたが、実地研修はコロナ禍で実施時期未定です。</li> </ul>	
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。</li> </ul>
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正収益の確保のため、各居宅支援事業と連絡を密にとりキントーンでの情報提供等を行い、利用スケジュールの調整や入居施設の空床利用の促進等行いましたが、施設内のコロナ感染で受入れができない期間があり、稼働率が低くなりました。</li> </ul>

### (3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
4月		新任職員研修 個人情報保護研修 ハラスメント研修 成長支援目標設定研修	
5月	家族ふれあいデー(中止) 家族会総会(書面) 健康診断(延期) 西予市老協協合同遠足(中止)	口腔ケア研修 新人研修	広報誌発行第249号  浴室ガス給湯器修繕 厨房フライヤー・空調設備修繕
6月	保育所交流会(中止) なごみホール介護教室(中止)	感染症(コロナ等)研修 食中毒予防研修 法人新人研修 個人情報保護研修	リクライニング車椅子2台購入 屋外排水管破損修繕工事
7月		ユニットケア研修 看取りケア研修 法人リーダー研修 ポジショニング研修	
8月	夏まつり(園内のみ)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	社協チャレンジボランティア受入
9月	秋の法要(人数制限)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 事故防止研修	成長支援スキルチェック

月	行 事	研修 (OJT等)	そ の 他
10月	敬老会(人数制限) 西予市老協協演芸大会(中止)	救命救急講習(一部職員) 認知症介護基礎研修 老協感染症研修 成長支援評価者研修	顧客満足度調査 協会奉仕作業
11月	職員ストレスチェック 夜間避難訓練 なごみホール介護教室(中止)	認知症ケア研修 成長支援研修 コロナ感染症対策研修 介護技術向上講習会 新人職員接遇研修	広報誌発行第250号
12月	クリスマス会(各ユニット) 入居者忘年会(各ユニット) シェイクアウトえひめ 南予地区合同災害訓練 大掃除(ボラ参加)	虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修 認知症ケア研修 成長支援研修 防災士研修	
1月	お年とり 初詣外出  コロナ感染	褥瘡対策研修 ポジショニング研修	コロナ感染保健所立入指導
2月	節分行事(各ユニット) コロナ感染症対策で面会禁止		コロナ感染保健所立入指導 入所施設一斉抗原検査
3月	春の法要(人数制限) 避難・消火訓練 入居者レントゲン健診	今年度運営状況発表	広報誌発行第251号 無料抗原検査実施(職員)
毎月	職員会、運営委員会、リーダー会、各ユニット会、個別ケア推進委員会 食事・排泄委員会、入浴・介護技術委員会、企画委員会、編集委員会 セイフティー委員会(褥瘡対策、危機管理・事故防止対策、身体拘束・虐待対策) クオリティー委員会(給食、サービス、業務改革)、内部研修会 介護マイスター、介護技術伝達講習会、あかし歯科検診		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、入所検討委員会(4、7、10、1月) クオリティー委員会(感染症予防対策、医療的ケア)、OJT委員会 セイフティー委員会(防災対策、安全衛生推進) 合同職員会(2ヶ月毎)、内科回診(火・水)、歯科検診(毎月1回)		
随時	各ユニット食事会(誕生会)、行事食、地域行事外出、里帰り、交流会(中止) 感染対策委員会、避難訓練、各法人委員会、法人研修会		
毎日	口腔体操、機能訓練		

(4) 利用者利用状況

月	入所可能人員	入所者人数	稼働率	前年度稼働率
4	120	111	92.5%	55.8%
5	124	116	93.5%	70.2%
6	120	126	105.0%	90.0%
7	124	136	109.7%	88.7%
8	124	109	87.9%	100.0%
9	120	102	85.0%	102.5%
10	124	104	83.9%	95.2%
11	120	107	89.2%	72.5%
12	124	126	101.6%	87.9%
1	124	100	80.6%	87.9%
2	112	70	62.5%	92.9%
3	124	93	75.0%	91.9%
合計	1,460	1,342	88.9%	86.3%

利用定員 4名

平均介護度 2.7

### 3. デイサービスセンターふれあい事業報告

#### (1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

- ア 私たちは、利用者様の満足度向上に努力します。
- イ 私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊かにします。
- ウ 私たちは、一人ひとりの力を組織の力に結集させます。
- エ 私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します。
- オ 私たちは、地域の社会資源として、生きがいを提供します。

#### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者評価の受審結果に基づき改善しました。</li> <li>・顧客満足度調査を実施し意向の確認を行いました。利用者さんからの意見を参考にしサービスの改善を行いました。</li> <li>・介護相談員もコロナ禍で実施されませんでした。</li> <li>・リモートで行われた外部研修に参加しました。</li> </ul>
	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で地域との交流やボランティアの受け入れも実施できませんでした。</li> </ul>
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護機器等の故障もなくサービスを提供することができました。</li> <li>・利用環境を改善するため協議を行い、令和4年度に法正園なごみホールへの移転を決定しました。</li> </ul>
社会に対する姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し利用や社会福祉法人減免など利用してもらうことで公益的な取組を行いました。</li> <li>・福祉避難所の整備は行うことができませんでした。</li> </ul>
	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回の広報誌を発行し、利用中の様子等をご家族へ紹介することができました。</li> <li>・第三者評価の結果を愛媛県ホームページにて公表しました。</li> </ul>
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員会時に理念を唱和し理念の徹底を図りました。</li> <li>・マニュアルの見直しを行いました但不十分なため継続的に行って行きます。</li> </ul>
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エルダー制を導入し新人育成に取り組む事ができました。</li> <li>・介護技術の講習にも参加し介護技術の向上を図ることができました。</li> </ul>
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。</li> <li>・リモートで行われた外部研修に参加しました。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就業規則を掲示し、変更点等については職員会で説明を行いました。</li> <li>・稼働率75%を目標にしていたが、コロナ感染症の影響で達成できませんでした。</li> <li>・ここ数年経営改善ができない為、稼働率の改善や人件費及び家賃等の経費削減を検討し、令和4年度に営業日の変更と移転を決定し経営改善を行います。</li> </ul>

## (3) 実施事業

月	行事	研修 (OJT)	その他
4月	お花見外出(中止)	新年度事業計画と施設方針 個人情報保護研修 ハラスメント研修	
5月	こいのぼり見学 (中止)	介護技術研修	デイ広報誌発行
6月		介護技術研修 感染症(コロナ等)研修 食中毒予防研修 個人情報保護研修	
7月	七夕飾り		
8月		虐待防止対策研修 身体拘束廃止研修	社協チャレンジボランティア受入
9月			成長支援スキルチェック デイ広報誌発行
10月	秋祭り(中止)	救命救急講習(一部職員)	顧客満足度調査
11月	紅葉狩り(中止) 乙亥祭り(中止) 亥の子		職員ストレスチェック
12月	クリスマス会	虐待防止対策研修 事故発生防止研修	避難訓練
1月	鍋料理 初詣外出(中止)		デイ広報誌発行
2月	節分行事		
3月	ひな祭り	今年度運営状況発表	避難訓練 無料抗原検査実施(職員) デイ広報誌発行
毎月	運営委員会・職員会・誕生会		
随時	担当者会議(カンファレンス)・法人委員会		
毎日	ラジオ体操・ADL体操・認知症予防体操・口腔体操		

## (4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	754	514	68.2%	70.6%
5	754	482	63.9%	65.2%
6	754	459	60.9%	66.0%
7	754	482	63.9%	69.2%
8	725	413	57.0%	62.5%
9	725	455	62.8%	69.1%
10	754	498	66.0%	68.7%
11	754	511	67.8%	67.1%
12	783	496	63.3%	65.1%
1	754	431	57.2%	55.9%
2	696	405	58.2%	66.7%
3	783	474	60.5%	72.9%
合計	8,990	5,620	62.5%	66.5%

利用定員 29名

1日平均利用 18.1人

営業日 日曜日から金曜日の週6日(元日、1月2日は除く)

介護度状況 (令和4年3月末現在)

介護度状況 (令和4年3月末現在)					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
18	11	10	2	3	10	17

平均介護度 1.6

男性 21名 女性 50名

平均年齢 88.5歳

#### 4. 居宅介護支援事業所ふれあい事業報告

##### (1) 行動指針

- ①利用者の心身の状況、生活歴、環境等の把握を十分に考慮し、自立した日常生活が送れるよう個別ケアを行います。
- ②利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立って支援します。
- ③行政、地域包括支援センター、介護保険施設等との連携に努めます。

##### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	・外部、内部の権利擁護・倫理研修会等に参加しました。
	サービスの質の向上	・個別ケアを意識した関わりやケアプラン作成、また自立支援プラン作成を実施しました。 ・事業所内で見直しや、意見交換を実施しています。 ・個別ケア、自立支援に関するケアマネジメント研修等に参加しています。
	地域との関係の向上	・独居や高齢世帯、障がい者世帯等、必要なケースにおいて、民生委員、障害者事業所等と連携を取り地域との関わりを大切にした支援を実施し情報共有を行いました。 ・ガイドブックを参考に、社会資源の把握や活用に努めました。
	利用環境の向上	・パソコン買換え実施、iPadを活用し研修会や会議に参加しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	・地域包括ケアシステム構築のため、介護医療との連携、地域との連携を実施しました。 ・多職種、専門職との連携を図りチームでの支援を実施しました。
	情報発信	・要介護者等が適切な介護サービスを選択出来るよう、介護サービス情報公表報告システムで、情報を公表しています。
福祉人材に対する基本姿勢	人材マネジメント	・理念の周知徹底を実施しています。
	人材の定着	・相談や情報共有情報交換を行い、困難事例等1人で抱えずストレスに繋がらないよう留意しています。 ・意見等出し合い業務改善の見直しを行い、業務の負担軽減に努めています。
	人材の育成	・成長支援制度、各種研修会、地域リーダー研修等へ参加し質の向上やステップアップを実施しています。 ・主任介護支援専門員研修に1名参加、主任介護支援専門員の資格を取得しました。（主任介護支援専門員資格取得者2名） ・介護支援専門員実務研修の見学実習を受け入れました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	・就業規則の周知・実施。介護保険制度の周知等を行い、法令を遵守し適正なケアマネジメント、運営を行っています。 ・3月に保険者によるケアプランチェックがありました。

毎月の業務

介護保険事業所連絡会	提供票交換会・各事業所情報交換
西予市介護支援専門員連絡会	勉強会、情報交換（偶数月）
主任ケアマネ連絡会	勉強会、情報交換（奇数月）
国保事務請求	給付管理・介護給付費請求事務
自宅訪問	本人の様子観察・家族本人の要望等の把握 （最低月1回）
利用票・提供票の作成	次月の利用票・提供票の作成
利用票の配布	利用者・家族に利用票の配布・捺印を頂く
提供票の配布	各事業所に提供票の配布
モニタリング	各利用者のモニタリング（月1回）
介護支援経過の記録	各利用者の支援記録
病院との連携	野村病院週1回（木）カンファレンス出席 その他の病院は、随時訪問 入院時等、医療介護連携シートの提出
事業所内の伝達等会議の開催	週1回開催
各種勉強会、研修会への出席	ケアマネ研修、居宅介護支援に関する研修他

(3) 利用者利用状況等

月	介護保険				介護予防			
	男	女	計	居宅介護支援費	男	女	計	介護予防委託料
4	21	52	73	1,098,280	5	6	11	48,290
5	25	51	76	1,143,130	4	6	10	43,900
6	23	53	76	1,133,200	5	5	10	43,900
7	26	51	77	1,162,990	4	7	11	51,290
8	21	46	67	995,380	4	5	9	39,510
9	24	53	77	1,161,720	4	5	9	39,510
10	18	58	76	1,141,890	4	7	11	57,180
11	21	57	78	1,162,360	4	8	12	58,560
12	22	57	79	1,183,870	4	11	15	71,700
1	21	62	83	1,256,710	4	11	15	71,700
2	23	53	76	1,141,880	4	12	16	76,080
3	21	54	75	1,112,810	4	13	17	80,460
総計	266	647	913	13,694,220	50	96	146	682,080

居宅介護支援利用者介護度別

(R4年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
10	7	27	25	13	8	2

\* 要支援1は、総合事業対象者も含む。

## 5. 特別養護老人ホームしいのき園

### (1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

### (2) 事業報告

区 分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で生活全般に制約が掛かり、プランの実現が難しい状況の中でも、ひとりひとりに寄り添いながら、その人らしい生活が送れるよう支援に努めました。</li> <li>・介護、看護、生活相談員、施設ケアマネが連携し、個別ケアの充実を図りました。</li> <li>・「虐待防止チェックリスト」の結果を基に、グレーゾーンの洗い出しと虐待ゼロに努めました。</li> </ul>
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度受審した「福祉サービス第三者評価」の評価結果を踏まえた改善に向けた取組みについては、根本的な業務の見直しの必要性もあり、今年度は十分に行えませんでした。</li> <li>・「顧客満足度調査」を実施しました。要望や意向の確認を行い、その解決に努めました。（面会スペースの環境改善）</li> <li>・外部研修会への参加については、感染症対策によりハイブリッド開催（集合＋オンライン）が多くなり、法人内においても、研修や会議のオンライン化が定着してきました。</li> <li>・資格取得に付いては、1名が喀痰吸引の研修を受講しましたが、コロナ禍で実地研修の受講が出来ず、資格取得には至りませんでした。</li> </ul>
	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響により、施設での諸行事は園内開催とし、地域行事等への参加は殆ど実施出来ませんでした。</li> <li>・夏休みチャレンジボランティアには6名の参加がありましたが、入所者との直接的な接触を避けた内容で実施しました。</li> <li>・夜間避難訓練についても、地域の方の応援は中止し消防署の指導を仰ぎながら、入所者と職員のみで実施しました。</li> </ul>

重点項目	令和3年度取組報告
生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具については、毎月、福祉機器管理委員会が点検を実施し、不良個所の早期発見と修繕に努めました。</li> <li>・機器の購入および買換えに付いては、定期的な点検および修繕と、適正な購入時期を見極める事で、計画していた買換えを行う事はありませんでした。</li> <li>・福祉機器の購入については、愛媛県介護ロボット導入支援事業費補助金を活用し、入所者の睡眠状態やバイタルが見える化出来る「眠りscan」10台を購入し、介護現場での業務負担軽減を図りました。</li> <li>・昨年度に引き続き、ユニットおよび面会スペースに仕切戸追加設置。ホール南側に非常口設置。ショート送迎口にカーポート設置等を行い、施設環境の整備を図りました。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	<p>地域における公益的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用を行いました。</li> <li>・福祉避難所の機能整備として、外部からの避難者の出入りが容易に出来るよう、ホール南側に非常口を設置しました。</li> </ul> <p>信頼と協力を得るための情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係スタッフが必要に応じて家族に、日々の様子や状態変化時の報告等、こまめに連絡を取り信頼関係の構築に努めました。</li> <li>・園の様子を発信するツールとして、広報誌「しいのき」を年3回発行、法人ホームページの施設別ブログとFacebook（フェイスブック）をその都度更新しました。</li> <li>・苦情の有無にかかわらず、ホームページと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。（報告件数：0件）</li> </ul>
福祉人材に関する基本姿勢	<p>人材のマネジメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「法人理念」、「法人基本方針」の周知については、各部署への掲示に加え、その都度の一斉唱和に努めました。</li> <li>・マニュアル等の整備については、不十分であり引き続き整備を行います。</li> <li>・効率的な業務を行うために、業務改革委員会でその都度協議し改善を行っていますが、局所的な見直しにとどまり、全体的な改善を行う事が出来ませんでした。今後とも、業務上のムリ・ムダ・ムラをなくすために引き続き見直しを行います。</li> </ul> <p>人材確保に向けた取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技能実習生1期生の成長を受け、3期生2名を受入れる計画でしたが、コロナ禍の影響で入国が出来ず雇用には至りませんでした。</li> <li>・夏休みチャレンジボランティアでは、6名の方に参加していただき、入所者との直接的な接触を避ける内容ではありましたが、介護への興味を深めてもらうきっかけ作りが出来ました。</li> <li>・「出前講座」等については、コロナ禍の影響で実施出来ませんでした。</li> </ul>

重点項目	令和3年度取組報告
人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員への教育プログラムについては、エルダー制度を活用し、成長過程を確認しながら指導が出来ました。</li> <li>・介護技能実習生には、技能面、生活面での教育および指導、日本語教育など、全職員が多方面からの支援を行うことで、全体的なスキルアップを図ることが出来ました。</li> <li>・業務負担軽減を図るために、看護記録用にタブレット端末購入運用、眠りscan導入運用、Web会議環境の整備を行いました。</li> <li>・ストレスチェックを実施し、職員のメンタル面の変化の把握に務めました。</li> <li>・職員間の交流は、コロナ禍の影響で広域的な交流は殆ど出来ず、感染状況をみながら限定的な範囲での交流となりました。</li> </ul>
人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員として重要なスキルである介護技術の習得については、高齢者福祉部会で行う介護伝達講習会で受講した職員が、施設内で行うマイスター勉強会において、新人職員等に教える流れが来ています。また、自主的に勉強会を開く事もあり、スキルに不安を抱えている職員が任意で参加しています。</li> <li>・エルダー制度を通じて、新任職員の育成、先輩職員の成長、チームの成長を促すことができました。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修会において、コンプライアンス研修を行い職員への意識付けを図りました。</li> <li>・規程規則の変更の際には、変更点を出来るだけ分かりやすく開示し周知を図っています。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月主要コストや稼働率等をデータベースに入力する事で、年間の推移が確認でき、コスト削減意識の向上が図れました。</li> <li>・介護保険における取得中の加算については、その都度加算要件の可否を確認し、取得可能な加算については制度の理解を深めながら取得の可否を判断し検討する事が出来ました。</li> </ul>

## (3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他 (コロナ関係)
4月	オンライン辞令交付式 第1回家族会役員会(中止)	新人新任職員園内研修 身体拘束、危険予知、 事故防止、個人情報保 護研修	県内外を問わず、ガラス越し・オ ンライン面会継続
5月	開園記念日 家族会総会(書面表決) 西予市老施協合同遠足(中止) 健康診断(延期→8/19) 第1回入所検討委員会	看取り研修、酸素ボン ベ・吸引器取扱研修 R2 新人職員研修 R3 新人職員研修	新型コロナワクチン接種 (入所者1回目)
6月	火災通報・避難訓練	経口維持加算、口腔ケ ア研修 R3 新人職員研修	新型コロナワクチン接種 (入所者2回目、職員1回目) 県内の方のみ、屋内の限定場所 での面会可となる。(22日～)
7月	外出(竹あかり見学) 介護技能実習生3期生オン ライン面接	心肺蘇生、AED講習会 介護技能実習生単独業 務開始(早出、遅出)	新型コロナワクチン接種 (職員2回目)
8月	健康診断(延期→1/20) 園内納涼祭 火災通報・避難・消火訓練 夏休みチャレンジボラン ティア 第2回入所検討委員会	感染予防研修(新型コ ロナウイルス)	県内外を問わず、ガラス越し・オ ンライン面会とする。(20日～)
9月	園内花火大会 西予市老施協合同演芸大会 (中止) 介護技能実習生介護技能実 習評価試験	褥瘡対策のための研修 R2 新人職員研修	家族の希望により、日曜日の面会 を開始する。(15日～)
10月	夜間避難訓練 里帰り外出(宇和町) インフルエンザ予防接種 (入所者)	認知症基礎研修 感染予防研修(インフ ルエンザ・ノロウイル ス)	市内の方のみ、屋内の限定場所 での面会可となる。(15日～) 県内の方のみ、屋内の限定場所 での面会可となる。(20日～)
11月	亥の子来園 夜勤者健診(中止) 第3回入所検討委員会 職員奉仕活動 インフルエンザ予防接種(職員)	事故防止、身体拘束、 虐待対策研修 ハラスメント研修 R3 新人職員研修	県内外を問わず、屋内の限定場所 での面会可となる。(15日～)

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他 (コロナ関係)
12月	家族会奉仕活動 防災訓練 (非常食) 風水害避難訓練 クリスマス会・餅つき	福祉機器の取扱いについて研修	
1月	お歳取り 健康診断 (中止) 外国人技能実習機構監査	資質向上ポジショニング研修 介護技能実習生夜勤業務開始	県内外を問わず、ガラス越し・オンライン面会とする。(7日～)
2月	節分 第4回入所検討委員会	サービスの効率化研修	法人内新型コロナ感染施設へ介護職員1名派遣 新型コロナワクチン接種 (入所者・職員3回目)
3月	お花見外出 (町内) 職員結核検診 退職、異動者お別れ会		新型コロナ一斉抗原検査 (職員)
毎月	運営委員会、リーダー会議 (サービス向上、業務改革)、リスク会議 (褥瘡対策危機管理・事故防止、身体拘束対策適正化、虐待対策)、ユニット会議、専門委員会 (食事、排泄、企画、編集、入浴、介護マイスター)、安全点検、内科回診、ユニット炊飯、選択メニュー、季節の行事食、散髪、介護技術伝達講習会		
定期	職員会、リーダー会議 (感染症対策、食中毒対策、医療行為対策、安全衛生推進)、リスク会議 (防災対策)、内部研修、エルダー、入所検討、カンファレンス、内部研修会、避難訓練、健康診断、協会専門委員会、法人研修会、喫茶しいのき		
随時	相談・苦情対策委員会、里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流 介護人材受入施設連絡会		
毎日	朝礼、ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,500	1,455	97.0%	97.5%
5	1,550	1,527	98.5%	97.3%
6	1,500	1,491	99.4%	98.5%
7	1,550	1,483	95.7%	95.8%
8	1,550	1,465	94.5%	95.0%
9	1,500	1,416	94.4%	95.9%
10	1,550	1,525	98.4%	92.8%
11	1,500	1,476	98.4%	96.9%
12	1,550	1,496	96.5%	97.1%
1	1,550	1,441	93.0%	97.6%
2	1,400	1,310	93.6%	96.6%
3	1,550	1,484	95.7%	96.1%
合計	18,250	17,569	96.3%	96.4%

入所者要介護度別

(R 4年3月末現在)

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
0	0	6	16	28

平均介護度

4.54

男性 15名

女性 35名

平均年齢

88.3歳

## 6. 短期入所生活介護事業所しいのき園

### (1) 行動指針

『人をつなぐ地域をつなぐ共に笑顔のパートナー』

- ①安心安寧な生活の提供と維持に努めます。
- ②基本的人権を尊重したサービス提供に努めます。
- ③自分たちが利用したい施設を目指します。
- ④社会資源として地域に貢献します。
- ⑤常に職員の資質向上に励み、良質なサービス提供に努めます。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活の維持に主眼を置き、利用者およびその家族の声を聞きながら、自宅での生活環境を把握した上で、楽しく気持ちよく安全に利用していただけるよう、計画を立てる事が出来ました。</li> <li>・介護、看護、生活相談員、施設ケアマネが連携し、個別ケアの充実を図りました。</li> <li>・「虐待防止チェックリスト」の結果を基に、グレーゾーンの洗い出しと虐待ゼロに努めました。</li> </ul>
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度受審した「福祉サービス第三者評価」の評価結果を踏まえた改善に向けた取組みについては、業務の見直しの必要性もあり、今年度は十分に行えませんでした。</li> <li>・「顧客満足度調査」を実施しました。要望や意向の確認を行い、その解決に努めました。</li> <li>・家族との関りの中で意見や意向を聞きながら、可能な対応を行いました。</li> <li>・外部研修会への参加については、感染症対策によりハイブリッド開催（集合＋オンライン）が多くなり、法人内においても、研修や会議のオンライン化が定着してきました。</li> </ul>
	地域との関係向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響により、施設での諸行事は園内開催としました。</li> <li>・地域の方に参加や応援等をお願いしていた行事も、コロナ禍の影響で実施出来ませんでした。（納涼祭、夜間避難訓練等）</li> </ul>
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具については、毎月、福祉機器管理委員会が点検を実施し、不良個所の早期発見と修繕に努めました。</li> <li>・機器の購入および買換えに付いては、経年劣化により浴室浴槽、洗濯機、乾燥機の買換えを行いました。</li> <li>・天候に関係なく安全な送迎が行えるようユニット送迎口にカーポートを設置し、施設環境の整備を図りました。</li> <li>・福祉機器については、入所者の睡眠状態やバイタルが見える化出来る「眠りscan」を購入し、介護現場での業務負担軽減を図りました。</li> </ul>

区 分	重点項目	令和3年度取組報告
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用を行いました。</li> </ul>
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係スタッフが必要に応じて家族に、日々の様子や状態変化時の報告等、こまめに連絡を取り信頼関係の構築に努めました。</li> <li>・苦情の有無にかかわらず、ホームページと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。（報告件数：0件）</li> </ul>
福祉人材に関する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「法人理念」、「法人基本方針」の周知については、各部署への掲示に加え、その都度の一斉唱和に努めました。</li> <li>・マニュアル等の整備については、不十分であり引き続き整備を行います。</li> <li>・効率的な業務を行うために、業務改革委員会でその都度協議し改善を行っていますが、局所的な見直しにとどまり、全体的な改善を行う事が出来ませんでした。今後とも、業務上のムリ・ムダ・ムラをなくすために引き続き見直しを行います。</li> </ul>
	人材確保に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護技能実習生1期生の成長を受け、3期生2名を受入れる計画でしたが、コロナ禍の影響で入国が出来ず雇用には至りませんでした。</li> <li>・夏休みチャレンジボランティアでは、6名の方に参加していただき、入所者との直接的な接触を避ける内容ではありましたが、介護への興味を深めてもらうきっかけ作りが出来ました。</li> <li>・「出前講座」等については、コロナ禍の影響で実施出来ませんでした。</li> </ul>
	人材定着に向けた取り組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員への教育プログラムについては、エルダー制度を活用し、成長過程を確認しながら指導が出来ました。</li> <li>・介護技能実習生には、技能面、生活面での教育および指導、日本語教育など、全職員が多方面からの支援を行うことで、全体的なスキルアップを図ることが出来ました。</li> <li>・業務負担軽減を図るために、看護記録用にタブレット端末購入運用、眠りscan導入運用、Web会議環境の整備を行いました。</li> <li>・ストレスチェックを実施し、職員のメンタル面の変化の把握に務めました。</li> <li>・職員間の交流は、コロナ禍の影響で広域的な交流は殆ど出来ず、感染状況をみながら限定的な範囲での交流となりました。</li> </ul>
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員として重要なスキルである介護技術の習得については、高齢者福祉部会で行う介護伝達講習会で受講した職員が、施設内で行うマイスター勉強会において、新人職員等に教える流れが来ています。また、自主的に勉強会を開く事もあり、スキルに不安を抱えている職員が任意で参加しています。</li> <li>・エルダー制度を通じて、新任職員の育成、先輩職員の成長、チームの成長を促すことができました。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修会において、コンプライアンス研修を行い職員への意識付けを図りました。</li> <li>・規程規則の変更の際には、変更点を出来るだけ分かりやすく開示し周知を図っています。</li> </ul>

区 分	重点項目	令和3年度取組報告
マネジメントに対する基本姿勢	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月主要コストや稼働率等をデータベースに入力する事で、年間の推移が確認でき、コスト削減意識の向上が図れました。</li> <li>・介護保険における取得中の加算については、その都度加算要件の可否を確認し、取得可能な加算については制度の理解を深めながら取得の可否を判断し検討する事が出来ました。</li> </ul>

### (3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他 (コロナ関係)
4月	オンライン辞令交付式	新人新任職員園内研修 身体拘束、危険予知、事故防止、個人情報保護研修	県内外を問わず、ガラス越し・オンライン面会継続
5月	開園記念日	看取り研修、酸素ボンベ・吸引器取扱研修 R2/R3新人職員研修	
6月	火災通報・避難訓練	経口維持加算、口腔ケア研修 R3新人職員研修	新型コロナワクチン接種 (職員1回目) 県内の方のみ、屋内の限定場所での面会可となる。(22日～)
7月	介護技能実習生3期生オンライン面接	心肺蘇生、AED講習会 介護技能実習生単独業務開始 (早出、遅出)	新型コロナワクチン接種 (職員2回目)
8月	園内納涼祭 火災通報・避難・消火訓練 夏休みチャレンジボランティア	感染予防研修 (新型コロナウイルス)	県内外を問わず、ガラス越し・オンライン面会とする。(20日～)
9月	園内花火大会 介護技能実習生介護技能実習評価試験	褥瘡対策のための研修 R2新人職員研修	家族の希望により、日曜日の面会を開始する。(15日～)
10月	夜間避難訓練 (職員、利用者のみ)	認知症基礎研修 感染予防研修 (インフルエンザ・ノロウイルス)	市内の方のみ、屋内の限定場所での面会可となる。(15日～) 県内の方のみ、屋内の限定場所での面会可となる。(20日～)
11月	亥の子来園 職員奉仕活動 インフルエンザ予防接種 (職員)	事故、拘束、虐待、ハラスメント研修 R3新人職員研修	県内外を問わず、屋内の限定場所での面会可となる。(15日～)

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他 (コロナ関係)
12月	防災訓練 (非常食) 風水害避難訓練 クリスマス会・餅つき	福祉機器の取扱いについて研修	
1月	お歳取り 外国人技能実習機構監査	資質向上ポジショニング研修 介護技能実習生1期生 夜勤業務開始	県内外を問わず、ガラス越し・オンライン面会とする。(7日～)
2月	節分	サービスの効率化研修	法人内新型コロナ感染施設へ介護職員1名派遣 新型コロナワクチン接種 (職員3回目)
3月	雛祭り 職員結核検診 退職、異動者お別れ会		新型コロナ一斉抗原検査 (職員)
毎月	運営委員会、リーダー会議(サービス向上、業務改革)、リスク会議(褥瘡対策危機管理・事故防止、身体拘束対策適正化、虐待対策)、ユニット会議、専門委員会(食事、排泄、企画、編集、入浴、介護マイスター)、安全点検、内科回診、ユニット炊飯、選択メニュー、季節の行事食、散髪、介護技術伝達講習会		
定期	職員会、リーダー会議(感染症対策、食中毒対策、医療行為対策、安全衛生推進)、リスク会議(防災対策)、内部研修、エルダー、入所検討、カンファレンス、内部研修会、避難訓練、健康診断、協会専門委員会、法人研修会、喫茶しいのき		
随時	相談・苦情対策委員会、里帰り、イベント外出、バイキング、地域交流 介護人材受入施設連絡会		
毎日	朝礼、ミーティング		

#### (4) 利用者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	277	92.3%	44.3%
5	310	280	90.3%	63.2%
6	300	264	88.0%	72.7%
7	310	247	79.7%	77.4%
8	310	252	81.3%	83.9%
9	300	243	81.0%	94.3%
10	310	263	84.8%	80.6%
11	300	272	90.7%	84.0%
12	310	262	84.5%	78.4%
1	310	238	76.8%	78.4%
2	280	215	76.8%	86.4%
3	310	231	74.5%	89.7%
合計	3,650	3,044	83.4%	77.8%

利用定員	10名
平均介護度	2

7. 特別養護老人ホーム寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施。各自がグレーゾーンについての認識を共有し、その結果については、虐待対策委員会にて検証を行いました。</li> <li>・内部研修において、年2回、高齢者虐待防止、身体拘束排除について、日頃のケアを振り返りながら学びました。繰り返し行う事で、意識の徹底を図っています。</li> <li>・ご本人やご家族から聞き取りを行い、好みや生活歴を把握する事で、個別の支援や関りを持つことが出来ました。</li> <li>・定期的なカンファレンス時には、ご本人、ご家族に意向の確認を行いました。普段の何気ない会話の中で言われたことを汲み取り、ハッピープランに反映させました。外出等は新型コロナの感染状況を踏まえ、出来る範囲で実施しました。その他、外気浴等での気分転換、レクリエーションの充実を図りました。</li> </ul>
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルの見直しは、その都度行うことが出来ました。</li> <li>・顧客満足度調査を実施し、利用者様やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。また、調査結果については、ホームページでの公表を行いました。</li> <li>・嗜好調査を年2回、4月、10月に実施出来ました。</li> <li>・ネット環境を整え、オンライン研修も多数の職員が参加出来ました。遠くに出向く負担や、費用削減に繋がりました。</li> <li>・介護福祉士、介護支援専門員、第二種衛生管理者、防災士各1名ずつが資格取得出来ました。その他、喀痰吸引等研修に1名参加しました。</li> </ul>
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策のため、各地域での行事は中止となり、参加は出来ませんでした。地区の奉仕作業には3名参加しました。また、11月には魚成公民館で奉仕作業を行いました。</li> <li>・感染症が落ち着いている時には、近場でのドライブ、里帰りは実施しました。郷土巡りとして初詣に中筋大門松を見に行きました。</li> <li>・城川、魚成地区での防災活動は実施されませんでした。県が実施するシェイクアウト訓練には参加し、支援物資搬送を行いました。</li> </ul>

重点事項		令和3年度取組報告
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月実施している福祉機器の点検結果を踏まえ、修理もしくは買い替え等の必要性の確認が出来ました。</li> <li>・リクライニング車椅子(1)、車椅子(2)、センサーマット、赤外線センサー、ベッドリモコンの購入を計画的に行い、福祉機器の整備が図れました。</li> <li>・6月、11月に厨房器具点検を実施しました。大型厨房機器の不良について、早期発見に努めました。大型乾燥機等の点検も定期的に行い、3月には部品の交換を行いました。ボイラー室の点検は毎日行いました。床暖房の不調があり、修理しました。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の対象利用者はなかった。</li> <li>・新規利用者の方には、負担限度額申請の報告、書類作成援助を行いました。</li> <li>・福祉避難所の役割を担うため、毎月、防災倉庫の点検を実施しました。2月には西予市より福祉避難所防災用品が届きました。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「ひだまり」年3回発行する事が出来ました。</li> <li>・新型コロナの影響で、ご家族との面会も十分に出来ない状況であり、ブログの投稿回数を増やし、月に1回はご家族にお便りを送付する等、日頃の様子を伝えられるよう取り組みました。(月平均約6回ブログ投稿)</li> <li>・苦情の有無に関わらず、ブログと広報誌を通じて、苦情解決結果を公表しました。10月には満足度調査の集計結果をホームページに公表しました。</li> </ul>
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、各委員会にて唱和を行いました。</li> <li>・マニュアルの整備については、各委員会で見直しを行いました。また月に1回、業務改革委員会を開催し、業務内容を検討し、業務の効率化を図りました。今後も継続的に整備を行います。</li> <li>・1月には介護ロボット導入支援事業補助金で購入した眠りSCANを利用開始しました。利用者様の状態把握やタイムリーなケアに役立てていきます。</li> </ul>
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉体験の受入れは、新型コロナウイルス感染対策により、中止となりました。夏休みチャレンジボランティアは1名参加していただきました。</li> <li>・外国人人材2名を10月より受け入れる予定でしたが、新型コロナの影響で入国制限があり、延期となりました。受入れにあたり、職員への研修、生活用品の準備等を行いました。</li> <li>・外国人技能実習制度養成講習に2名参加しました。</li> </ul>
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エルダー制度を活用、今年度はすり合わせの時間を設け、新人とエルダーでともに確認作業が出来ました。</li> <li>・成長支援制度において、チーム目標を掲げ、各チームの各々が役割を実施し、目標達成に繋げることができました。</li> <li>・毎月の安全点検日に危険個所の洗い出しを行い、労働環境の整備に努めました。人材確保等支援助成金を活用し、特殊浴槽を購入し、安全、安楽に入浴が出来るように環境を整えました。</li> </ul>
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県老協主催の研修、県老人福祉研究大会、全国大会の実践発表等をオンラインで受講することが出来ました。</li> <li>・成長支援制度のスキルチェックの実施により自己の振り返りが出来、課題を評価者と一緒に確認しました。</li> <li>・介護支援専門員、介護福祉士、第二種衛生管理者、防災士、喀痰吸引等の資格取得の支援を行いました。介護福祉士の総数が83%になりました。</li> </ul>

マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いへの配慮に努めました。</li> <li>・新人教育、職員会、内部研修において、法令遵守に関する研修を行い、意識の徹底を図りました。</li> <li>・各委員会でマニュアルの見直しを行い、内容についても認識してもらうよう努めていきます。</li> </ul>
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月主要コストの検証を行いました。また、定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。介護用品、消耗品等は昨年度と比較し、コスト削減されていますが、燃料費、電気料等は全国的に値上げ傾向にあり、コスト上昇となりました。</li> <li>・12月より科学的介護推進体制加算（I）、2月より栄養ケアマネジメント強化加算を取得開始しました。</li> </ul>

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月		新任職員研修：7名 医療行為に関する研修(感染対策のため新規職員対象とし実施)	苦情第三者委員会
5月	家族会総会（書面にて）	感染症、食中毒予防、事故防止 防災研修：27名	「ひだまり」34号発行 利用者新型コロナワクチン接種 今田地区道作り参加：3名 健康診断感染予防により延期
6月	梅狩り 避難訓練(火災想定・通報訓練) 防災食対応訓練	虐待防止・身体拘束排除：27名	業務改革により二分化した業務体制に変更 職員新型コロナワクチン接種 第1回入所検討委員会 厨房エアコン取替工事
7月	里帰り(1件/1名)	排泄ケア研修(eラーニングにて) 外国人雇用に関する研修：25名	職員新型コロナワクチン接種 玄関仕切り戸設置
8月	夏祭り(小規模で開催)		健康診断感染予防により延期 夏休みチャレンジボランティア1名
9月	苑内敬老会(百歳1名、米寿2名)	看取りに関する研修：21名 褥瘡、ポジショニング研修会：19名	第2回入所検討委員会 浄化槽改修工事 第二種衛生管理者試験：1名 ほのぼのNEXT更新及びケアパレット導入
10月	苑内芋炊き 夜間想定避難訓練、通報訓練 利用者外出(2件/5名) 里帰り(1件/1名)	感染症に関する研修：17名	介護支援専門員受験(1名) 職員出入口防犯扉へ取替え 検食用冷凍庫購入 利用者インフルエンザ予防接種

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
11月	利用者外出(2件/4名)	認知症、レクリエーションに関する研修：18名	「ひだまり」35号発行 インフルエンザ予防接種 (利用者、職員) 洗濯室裏コンクリート工事 奉仕作業(魚成改善センター) 大洲人権擁護委員協議会 西予支部4名訪問
12月	苑内忘年会 餅つき ケーキ作り、クリスマス会 地震想定避難訓練	事故防止対策研修：33名	シェイクアウトえひめ 眠りSCAN導入に伴うWi-Fi 増設工事 防災士養成研修 第3回入所検討委員会
1月	苑内新年会 初詣外出(2件/4名) 防犯訓練	救急救命講習、感染対策のため新規職員対象とし実施：5名	「ひだまり」36号発行 健康診断感染予防により延期 眠りSCAN搬入 介護福祉士受験(2名)
2月	節分豆まき 恵方巻作り		法正園応援職員1名派遣 利用者、職員新型コロナ ワクチン接種 西予市老施協交流会
3月	土砂災害想定訓練 お花見会	今年度まとめ各部署より報告 成長支援制度振り返り、虐待 防止、身体拘束排除：18名	第4回入所検討委員会 利用者、職員結核検診
毎月	運営委員会・B棟会・C棟会・誕生会・各専門委員会(給食、褥瘡予防、感染症予防 事故防止対策、身体拘束廃止、虐待防止対策、防災対策、サービス向上、衛生管理 食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修)、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	入所検討委員会(3ヶ月毎)・カンファレンス・エルダー委員会 内科回診(月・木)・環境整備(3ヶ月毎)・消火訓練(3ヶ月毎)		
随時	避難訓練・防犯訓練・外出・ふるさと訪問・内部研修会 法人研修会・職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月		利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4		1,500	1,471	98.1%	98.2%
5		1,550	1,483	95.7%	96.1%
6		1,500	1,481	98.7%	95.1%
7		1,550	1,524	98.3%	93.9%
8		1,550	1,506	97.2%	93.9%
9		1,500	1,430	95.3%	95.5%
10		1,550	1,470	94.8%	96.5%
11		1,500	1,458	97.2%	95.1%
12		1,550	1,526	98.5%	93.9%
1		1,550	1,517	97.9%	94.3%
2		1,400	1,339	95.6%	95.9%
3		1,550	1,520	98.1%	97.2%
合計		18,250	17,725	97.1%	95.4%

利用者要介護度別

(令和4年3月末現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	12	18	20

平均介護度                    4.16  
平均年齢                        86.9歳  
男性 15名                        女性 35名

8. 短期入所生活介護事業所寿楽苑

(1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

(2) 事業報告

区分	重点事項	令和3年度取組報告
利用者家族に対する基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> <li>・個別ファイルにアセスメントシートを保存し、利用時にはいつでも確認出来るようにしました。</li> </ul>
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> <li>・居宅ケアマネから提供されるケアプランに沿って、介護および看護が連携し利用者様の心身機能の維持に努めました。</li> <li>・利用者の在宅生活の維持を目的とし、家族の意向および利用者様の負担を考慮しながら居宅ケアマネと適宜調整を行い、家族の介護負担軽減に努めました。</li> </ul>
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度と同様にコロナウイルス感染予防対策に伴い、ボランティアの方等との交流が出来ませんでした。</li> </ul>
	生活環境・利用者環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> <li>・利用時は、在宅での生活環境に近付けた居室環境作りを行い、安心して安全に生活して頂けるよう努めました。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、居宅ケアマネとの連携を図り、利用前には聴き取りを十分に行い、健康状態を確認し、感染対策を行った上で、利用していただきました。</li> <li>・昨年度購入した荷物チェックアプリの使用にも慣れ、効率化が図られ、忘れ物も少なくなっています。</li> </ul>
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> <li>・台風の到来時に、独居の利用者様延べ3名に対して、緊急受け入れを実施しました。その他、高齢者世帯の利用者様1名に、家庭状況に合わせ、緊急受け入れを実施しました。</li> </ul>
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> <li>・利用者様の状態に少しでも変化があれば、その都度、ご家族、担当ケアマネに連絡し、早期発見、治療に繋げています。</li> </ul>
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> </ul>
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> </ul>
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> </ul>
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> </ul>
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養と同様の内容にて実施。</li> <li>・冬季は他事業所入所や入院等で空床が発生しましたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、積極的な受け入れは控えましたが、年間平均稼働率、83%は維持することが出来ました。</li> <li>・介護福祉士の総数が83%になったことから、来年度より、サービス提供体制強化加算（I）が取得可能となりました。</li> </ul>

(3) 行事報告

月	行 事	研修 (O J T)	そ の 他
4月		職員対象の研修等は、特養と同様の内容にて実施	4/27～町内新型コロナウイルス感染者発生、サービス停滞を招かないよう聴き取りを十分に行い、サービス継続  特養と同様
5月		↓	
6月	梅狩り 避難訓練(火災想定・通報訓練) 防災食対応訓練		
7月			
8月	寿楽苑夏祭り		
9月	苑内敬老会		
10月	芋炊き、夜間想定避難訓練		
11月			
12月	苑内忘年会、餅つき ケーキ作り、クリスマス会 地震想定避難訓練		
1月	苑内新年会、防犯訓練		
2月	節分豆まき、恵方巻作り		
3月	お花見会 土砂災害想定訓練		
毎月	運営委員会・B棟会・C棟会・誕生会・各専門委員会（給食、褥瘡予防、感染症予防 事故防止対策、身体拘束廃止、虐待防止対策、防災対策、サービス向上、衛生管理 食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修）、業務改革委員会 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	エルダー委員会 環境整備（3ヶ月毎）・消火訓練（3ヶ月毎）		
随時	避難訓練・防犯訓練・内部研修会・法人研修会 職員会・食中毒対策緊急会議・相談苦情対策委員会		
毎日	朝礼・ミーティング		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	300	251	83.7%	60.7%
5	310	256	82.6%	66.1%
6	300	258	86.0%	88.0%
7	310	268	86.5%	88.1%
8	310	269	86.8%	83.2%
9	300	235	78.3%	91.0%
10	310	252	81.3%	89.4%
11	300	251	83.7%	96.7%
12	310	270	87.1%	88.7%
1	310	247	79.7%	94.2%
2	280	224	80.0%	94.3%
3	310	248	80.0%	86.5%
合計	3,650	3,029	83.0%	85.5%

利用定員 10名

平均介護度 2.8 (令和4年3月末現在)

## 9. デイサービスセンター寿楽苑

### (1) 行動指針

『当たり前からその人らしい生活へ』

- ①利用者本意の立場で、安らぎある生活を支えます。
- ②利用者の家族・関係機関との連絡調整を含め、誠意あるサービスの提供に努めます。
- ③法令を遵守し、堅実で透明性のある施設経営を行います。
- ④研修、資格取得に積極的に取り組み、専門職としての資質向上に努めます。

### (2) 事業報告

区分	重点事項	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する 基本姿勢	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待のチェックとして「自己点検シート」への記入を年2回実施、各自がグレーゾーンについての認識を共有し、その結果については虐待対策委員会、デイ職員会にて検証を行いました。</li> <li>・担当者会議等で、利用者様、ご家族の意向を聴き取りし、計画書に反映し、サービス提供に取り入れるよう努めました。</li> </ul>
	サービスの質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客満足度調査を実施し、利用者様やご家族の意向を確認する事が出来ました。その結果を踏まえ、指摘事項の改善を行いました。食事についても同様に、意向や好みを確認し、各利用者様に応じた食事の提供をしております。</li> <li>・家族との連携を図り、ニーズの把握に努め、利用者様の個別対応や過ごし方の充実について、適宜職員間で協議し改善に向けた検討を行いました。</li> <li>・県老協主催の研修、県老人福祉研究大会の実践発表等、デイサービスに特化した内容のものをオンラインで受講することが出来ました。運転技能講習会、介護技術勉強会、感染症対策等デイ独自の研修も実施しました。</li> </ul>
	地域との関係の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策のため、各地域での行事は中止となりました。11月には魚成公民館で奉仕作業を行いました。</li> <li>・感染症対策により、遠出はせず、地元で景色の良い場所を見つけ、外出し気分転換を図りました。</li> <li>・城川、魚成地区での防災活動は実施されませんでした。県が実施するシェイクアウト訓練には参加し、支援物資搬送を行いました。</li> </ul>
	生活環境・利用環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定されていたトイレ改修は、新型コロナウイルス感染予防対策により延期となりましたが、来年度の実施に向けて、準備を行っています。給湯器の不具合がありましたが、感染症の影響で納品が遅れております。利用者様の入浴に支障がないよう、工夫して取り組みました。特殊浴槽室のタイルの張替えを実施しました。車椅子が古くなっており、2台購入しました。</li> <li>・自宅での生活状況を調査し、利用者様の身体状況に合わせた機能訓練を実施、適宜ご家族にその様子等を報告することで、在宅での生活機能の維持向上に役立ててもらえる事ができました。</li> <li>・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、居宅ケアマネとの連携を図り、利用前には聴き取りを十分に行い、健康状態を確認し、感染対策を行った上で、利用していただきました。</li> </ul>

区分	重点事項	令和3年度取組報告
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の活用。(利用対象者なし)</li> <li>・入浴サービス利用実績(10回/年)</li> <li>・お試しデイサービス利用実績(4名/年)</li> </ul>
	信頼と協力を得るための情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「デイサービスセンター寿楽苑通信」を年3回発行し、利用時の様子を発信する事が出来ました。</li> <li>・苦情受付の実績はありませんでした。公表については、毎月ブログで行いました。</li> </ul>
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念と基本方針の周知徹底を図るため、各委員会にて唱和を行いました。</li> <li>・大きな業務見直しには至っていないが、適宜、話し合いを行い業務改善を行いました。</li> </ul>
	人材の確保に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉体験の受入れは、新型コロナウイルス感染対策により、中止となりました。夏休みチャレンジボランティアは1名参加していただきました。利用者様と直接の関りは控え、レクリエーション等を見学されました。</li> <li>・外国人人材2名を10月より受け入れる予定でしたが、新型コロナの影響で入国制限があり、延期となりました。受入れにあたり、職員への研修、生活用品の準備等を行いました。</li> </ul>
	人材の定着に向けた取組の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エルダー制度を活用し、新任職員1名の育成を実施。</li> <li>・成長支援制度において、チーム目標を掲げ、各チームの各々が役割を実施し、目標達成に繋げることができました。</li> <li>・月1回の安全点検日に福祉用具や車輛について、点検を行い、不具合を確認したら、速やかな解消に務めました。特養と合同の委員会に参加し、職場環境の改善を図りました。</li> </ul>
	人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでの研修会に適宜参加しました。(認知症介護基礎研修、安全対策担当者養成研修等)</li> <li>・資格取得の受験者はありませんでした。</li> <li>・介護福祉士の総数は82%でした。</li> </ul>
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いへの配慮に努めました。</li> <li>・新人教育、職員会、内部研修において、法令遵守に関する研修を行い、意識の徹底を図りました。</li> <li>・各委員会でマニュアルの見直しを行い、内容についても認識してもらうよう努めていきます。</li> </ul>
	健全な財務規律の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に感染者が発生した折には、昨年度のようなサービス低下を招かぬよう、聴き取りを十分に行い、サービスを継続しました。</li> <li>・稼働率向上に向けて、新規利用、利用日追加の利用者様の受け入れを行いました。入院、入所、感染予防で休まれる利用者様もおられ、向上には至りませんでした。</li> <li>・毎月主要コストの検証を行いました。また、定期的にコスト状況を職員へ周知する事で、コスト削減意識の向上を図ることが出来ました。</li> <li>・新規加算取得に向けて検討はしましたが、取得可能な加算はありませんでした。</li> </ul>

## (3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	その他
4月	ドライブ (遊子川方面)	医療行為に関する研修(感染対策のため新規職員対象とし実施)	4/27～町内新型コロナウイルス感染者発生、サービスを停滞させぬよう聴き取りを行いサービス継続 大型テレビ購入
5月	おやつ作り (よもぎ団子)	感染症、食中毒予防、事故防止 防災研修：8名	健康診断感染予防により延期 広報誌(春号)発行
6月	ドライブ (遊子川方面) 避難訓練(火災想定・通報) 訓練、防災食対応訓練	虐待防止・身体拘束排除：7名	新型コロナワクチン接種
7月		排泄ケア研修 (eラーニングにて) 外国人雇用に関する研修：9名	新型コロナワクチン接種
8月	おやつ作り (かき氷) デイで採れた野菜を使って のカレー作り		健康診断感染予防により延期 実施指導延期 夏休みチャレンジボランティア1名
9月	敬老会 ドライブ (三滝)	褥瘡、ポジショニング研修会 ：7名	浄化槽改修工事
10月	夜間想定避難訓練、通報訓練 運動会	感染症に関する研修：5名	広報誌(秋号)発行 職員出入口防犯扉へ取替え
11月	ドライブ (三滝) おやつ作り (芋餅)	認知症、レクリエーションに 関する研修：5名	インフルエンザ予防接種 奉仕作業 (魚成改善センター) 実地指導
12月	クリスマス会 地震想定避難訓練	事故防止対策研修：9名	シェイクアウトえひめ
1月	福笑い 防犯訓練	救急救命講習、感染対策のため 新規職員対象とし実施：5名	広報誌(新年号)発行
2月	豆まき		新型コロナワクチン接種
3月	おやつ作り (雛あられ) 土砂災害想定訓練	今年度まとめ各部署より報告 成長支援制度振り返り、虐待 防止、身体拘束排除：8名	結核検診
毎月	運営委員会・デイ職員会・誕生会・各専門委員会 (給食、褥瘡予防、感染症予防 事故防止対策、身体拘束廃止、虐待防止対策、防災対策、サービス向上、衛生管理 食事、排泄、入浴、企画・広報、内部研修) 介護マイスター勉強会・高齢者福祉部会介護技術伝達講習会・安全点検		
定期	環境整備 (3ヶ月毎)・エルダー委員会		
随時	避難訓練・外出・内部研修会・法人研修会・合同職員会・相談苦情対策委員会・食中毒対策緊急会議		
毎日	朝礼・終礼		

(4) 利用者利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	650	521	80.2%	44.3%
5	650	505	77.7%	60.6%
6	650	506	77.8%	65.1%
7	675	512	75.9%	71.0%
8	650	486	74.8%	68.3%
9	650	476	73.2%	72.5%
10	650	487	74.9%	73.5%
11	650	490	75.4%	69.1%
12	650	476	73.2%	74.5%
1	625	451	72.2%	63.7%
2	600	398	66.3%	70.5%
3	675	494	73.2%	76.9%
合計	7,775	5,802	74.6%	67.5%

(利用定員) 25名

(1日平均利用) 18.6人

(営業日) 月曜日から土曜日の週6日

(介護度状況) (令和4年3月末現在)

事業対象者	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
2	5	12	16	22	10	7	2

平均介護度 2.2 (要支援・第1号対象者を除く)

10. 養護老人ホーム 奥伊予荘

(1) 行動指針

『笑顔で よりそい ささえあう』

- ア 入所者の意思及び人格を尊重します。
- イ 家族との結びつきを大切にします。
- ウ 職員は知識及び技術の向上に努めます。
- エ 地域貢献に努めます。
- オ 信頼される施設を目指します。

(2) 事業報告

区 分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 支援計画の作成時に自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	コロナ禍で十分な行事、イベント、外出等はできませんでしたが、その中でも実施方法を工夫し、ユニット単位での実施や、各ユニットごとの毎月のおやつ作り、利用者の希望を取り入れ個別外出を実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 職員の研鑽のための施設内研修は、感染症対策、事故防止、危機管理、虐待身体拘束等について実施しました。外部講師を招いての研修会はコロナが落ち着いた時期に消防署指導による事故対策の救命救急を行いました。
	地域との関係の継続	昨年は実施できなかった城川小との交流会はコロナ対策を実施したうえで規模を縮小し実施できました。認定こども園しろかわ保育所との芋ほり交流会も同様の対策をしたうえで実施できました。 老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加は中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	施設整備として大型洗濯機を2台購入設置。安全な姿勢での食事摂取のためテーブルや車椅子、フルリクライニング車椅子、3モーター超低床ベッドの備品を整備しました。 新型コロナウイルス感染症対策BCP整備しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組の推進	福祉避難所整備の充実(備蓄1週間分)しました。災害発生時の対策で非常用発電機の修繕行いました。 近隣地域との災害協定の締結しました。 奥伊予のつどい(年6回開催)はコロナ禍で実施できませんでした。
	信頼と協力を得るための情報発信	年3回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。

区分	重点項目	令和3年度取組報告
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	宇和特別支援学校の地元出身の3年生1名の実習を受け入れ就職に向けた取り組みを実施しました。夏休みのボランティアは希望者なく、受入はありませんでした。出前講座実施を計画していましたが、コロナ禍により実施できませんでした。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、コロナ禍で外部研修実施は見送りましたが、内部の充実に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や協議を実施しました。介護技術向上のための講習参加者による勉強発表会を実施し全職員が技術の向上に取り組みました。介護福祉士、介護支援専門員他、資格取得に向け取り組みました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	研修会、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。 経営の安定が図れるよう体制を整え、行政と確認、協議しながら運営しました。

### (3) 行事報告

月	行事	研修 (OJT)	その他
4月	お花見 五月人形 (飾り付け) お楽しみ外出・ふるさと訪問 (中止)	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 法令遵守・個人情報 プライバシー保護 施設設備機器扱い	福寿会役員会 (書面) 成長支援目標設定
5月	西予老協合同遠足 (中止) 健康診断 (延期) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出 (中止)	食中毒・脱水症 感染症対策 医療に関する研修	福寿会役員会 広報誌発行①
6月	家族会 (中止) JA年金友の会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) 保育所交流・芋苗植え (交流中止)	災害に関する研修	家族会総会 (書面) 福寿会役員会 市合同(風水・土砂災害) 避難訓練 草刈り
7月	七夕飾り そうめん流し (ユニット内) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出 (中止)	高齢者虐待・身体拘束 1	(昼) 火災避難訓練 福寿会役員会

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
8月	納涼祭 (中止) 盆法要 (中止) 健康診断 (延期) お楽しみ外出	リスクマネジメント 事故再発防止	福寿会役員会 草刈り
9月	敬老の式典 (ユニット内) 奥伊予のつどい (中止) 西予市老施協演芸大会 (中止) お楽しみ外出	認知症ケア ハラスメント防止対策	福寿会役員会 広報誌発行② 災害協定 (西古市地区)
10月	地域交流大運動会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) 城川小学校交流会 保育所交流・芋ほり お楽しみ外出	感染症予防 コロナ対策 成長支援実施結果報告会	福寿会役員会 出前講座(城川小、城川中) (中止) 成長支援目標設定
11月	奥伊予ふるさと祭 (中止) 伊予のつどい (中止) お楽しみ外出	救命救急・AED講習	(夜) 火災避難訓練 福寿会役員会 奉仕作業
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス会・忘年会 保育所交流会・餅つき 寄贈ハマチ料理提供 お楽しみ外出	虐待防止・身体拘束適正化	(地震)避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 新年会 (ユニット内) 健康診断 (中止)	事故再発防止 急変時対応 介護伝達講習披露会	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分 (ユニット内) 西予市老施協クイズ交流会 (Web開催) お楽しみ外出 (中止)	成長支援実施結果報告会	福寿会役員会 防犯訓練 (延期)
3月	ひな祭り (飾り付け) 春彼岸法要 (中止) レントゲン健診 (順風会) お楽しみ外出 (中止) 退職異動者お別れ会		福寿会役員会・総会 (火災) 避難訓練 レントゲン健診
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・処遇委員会・企画委員会 各専門委員会 (事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～3ヶ月1回研修、内部研修) 誕生会・ボウリング大会 (中止)・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診 (月1回)、散髪～月3回、ユニット全体消毒～週2回以上		
随時	地域行事外出・交流会・クラブ (一部中止)・法人研修会・法人各委員会 ・部会(web他)・利用者、職員コロナウイルスワクチン接種		
毎日	ラジオ・リハビリ体操、機能訓練 (平日)		

(4) 養護老人ホーム入所者(40人)利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	1,200	1,129	94.1%	94.3%
5	1,240	1,165	94.0%	95.2%
6	1,200	1,156	96.3%	97.1%
7	1,240	1,184	95.5%	96.6%
8	1,240	1,189	95.9%	96.1%
9	1,200	1,199	99.9%	97.3%
10	1,240	1,227	99.0%	97.2%
11	1,200	1,148	95.7%	94.8%
12	1,240	1,181	95.2%	92.9%
1	1,240	1,167	94.1%	97.3%
2	1,120	1,043	93.1%	95.4%
3	1,240	1,240	100.0%	93.6%
合計	14,600	14,028	96.1%	95.7%

入所者要介護度別 (令和4年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
28	1	6	4	1	0	0	0

男性 10名                      女性 30名                      入所者総数 40名

平均年齢                      86.7歳

措置機関別入所状況                      西予市 40名

(5) 奥伊予荘全体入所者(70人)利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	2,100	2,004	95.4%	94.7%
5	2,170	2,058	94.8%	93.6%
6	2,100	2,040	97.1%	94.6%
7	2,170	2,045	94.2%	95.3%
8	2,170	2,072	95.5%	95.9%
9	2,100	2,086	99.3%	97.8%
10	2,170	2,120	97.7%	97.1%
11	2,100	2,015	96.0%	94.5%
12	2,170	2,077	95.7%	92.9%
1	2,170	2,054	94.7%	95.7%
2	1,960	1,855	94.6%	95.8%
3	2,170	2,135	98.4%	96.3%
合計	25,550	24,561	96.1%	95.3%

入所者要介護度別 (令和4年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
28	1	6	10	11	8	3	3

男性 18名                      女性 52名                      入所者総数 70名

平均年齢                      86.7歳

措置機関別入所状況                      西予市 70名

## 11. 特定施設入居者生活介護事業所奥伊予荘

### (1) 行動指針

『笑顔で よりそい ささえあう』

- ア 入所者の意思及び人格を尊重します。
- イ 家族との結びつきを大切にします。
- ウ 職員は知識及び技術の向上に努めます。
- エ 地域貢献に努めます。
- オ 信頼される施設を目指します。

### (2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	集団生活を送る中、利用者自身が自己の尊厳・権利について自覚して頂くと共に、健康で安全・安心した生活が送れることを目的とした生活のしおりを作成し、利用者・職員に配布することにより周知を図りました。 ケアプラン・支援計画の作成時に自己決定と選択を重視したハッピープランの実現に取り組みました。
	サービスの質の向上	コロナ禍で十分な行事、イベント、外出等はできませんでしたが、その中でも実施方法を工夫し、ユニット単位での実施や、各ユニットごとの毎月のおやつ作り、利用者の希望を取り入れ個別外出を実施しました。また、満足度アンケート実施しました。 職員の研鑽のための施設内研修は、感染症対策、事故防止、危機管理、虐待身体拘束等について実施しました。外部講師を招いての研修会はコロナが落ち着いた時期に消防署指導による事故対策の救命救急を行いました。
	地域との関係の継続	昨年は実施できなかった城川小との交流会はコロナ対策を実施したうえで規模を縮小し実施できました。認定こども園しろかわ保育所との芋ほり交流会も同様の対策をしたうえで実施できました。 老人会(弥生会)・婦人会・地域行事への参加は中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	施設整備として大型洗濯機を2台購入設置。安全な姿勢での食事摂取のためテーブルや車椅子、フルリクライニング車椅子、3モーター超低床ベッドの備品を整備しました。 新型コロナウイルス感染症対策BCP整備しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	福祉避難所整備の充実(備蓄1週間分)しました。災害発生時の対策で非常用発電機の修繕行いました。 近隣地域との災害協定の締結しました。 奥伊予のつどい(年6回開催)はコロナ禍で実施できませんでした。
	信頼と協力を得るための情報発信	年3回の広報紙「おくいよだより」を発行し、行事等があった場合、適宜ブログにて発信しました。

区 分	重点項目	令和3年度取組報告
福祉人材に関する基本姿勢	人材マネジメントの推進	法人の基本理念・基本方針の周知に取り組み、成長支援制度を継続し、所属グループ及び個人の人材育成に取り組みました。
	人材の確保に向けた取り組み	宇和特別支援学校の地元出身の3年生1名の実習を受け入れ就職に向けた取り組みを実施しました。夏休みのボランティアは希望者なく、受入はありませんでした。出前講座実施を計画していましたが、コロナ禍により実施できませんでした。
	人材の定着に向けた取り組み	エルダー制度利用し、新任職員の育成を通じてエルダーの成長も促しました。また、コロナ禍で外部研修実施は見送りましたが、内部の充実に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	毎月の委員会や職員会、研修会において介護・支援実践基礎、各制度、法令等の研修や協議を実施しました。介護技術向上のための講習参加者による勉強発表会を実施し全職員が技術の向上に取り組みました。介護福祉士、介護支援専門員他、資格取得に向け取り組みました。
マネジメントに対する基本姿勢	コンプライアンスの徹底	研修会、会議等で法令遵守の周知を図りました。
	健全な財務規律の確立	デマンド監視装置の対応周知し、半期ごとに電気代等の経費を算出し、職員へ掲示することにより節電、節水のコスト削減に努めました。 経営の安定が図れるよう体制を整え夜間看護体制加算、サービス提供体制強化加算、介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算等への取り組みについて行政と確認、協議しながら運営しました。

### (3) 行事報告

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
4月	お花見 五月人形 (飾り付け) お楽しみ外出・ふるさと訪問 (中止)	新年度事業計画と施設方針 新任職員研修 法令遵守・個人情報 プライバシー保護 施設設備機器扱い	福寿会役員会 (書面) 成長支援目標設定
5月	西予老施協合同遠足 (中止) 健康診断 (延期) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出 (中止)	食中毒・脱水症 感染症対策 医療に関する研修	福寿会役員会 広報誌発行①
6月	家族会 (中止) JA年金友の会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) 保育所交流・芋苗植え (交流中止)	災害に関する研修	家族会総会 (書面) 福寿会役員会 市合同(風水・土砂災害) 避難訓練 草刈り
7月	七夕飾り そうめん流し (ユニット内) 奥伊予のつどい (中止) お楽しみ外出 (中止)	高齢者虐待・身体拘束 1	(昼) 火災避難訓練 福寿会役員会

月	行 事	研修 (OJT)	そ の 他
8月	納涼祭 (中止) 盆法要 (中止) 健康診断 (延期) お楽しみ外出	リスクマネジメント 事故再発防止	福寿会役員会 草刈り
9月	敬老の式典 (ユニット内) 奥伊予のつどい (中止) 西予市老施協演芸大会 (中止) お楽しみ外出	認知症ケア ハラスメント防止対策	福寿会役員会 広報誌発行② 災害協定 (西古市地区)
10月	地域交流大運動会 (中止) 奥伊予のつどい (中止) 城川小学校交流会 保育所交流・芋ほり お楽しみ外出	感染症予防 コロナ対策 成長支援実施結果報告会	福寿会役員会 出前講座 (城川小、城川中) (中止) 成長支援目標設定
11月	奥伊予ふるさと祭 (中止) 伊予のつどい (中止) お楽しみ外出	救命救急・AED講習	(夜) 火災避難訓練 福寿会役員会 奉仕作業
12月	西予市老施協合同避難訓練 クリスマス会・忘年会 保育所交流会・餅つき 寄贈ハマチ料理提供 お楽しみ外出	虐待防止・身体拘束適正化	(地震) 避難訓練 福寿会役員会
1月	初詣 新年会 (ユニット内) 健康診断 (中止)	事故再発防止 急変時対応 介護伝達講習披露会	福寿会役員会 広報誌発行③
2月	節分 (ユニット内) 西予市老施協クイズ交流会 (Web開催) お楽しみ外出 (中止)	成長支援実施結果報告会	福寿会役員会 防犯訓練 (延期)
3月	ひな祭り (飾り付け) 春彼岸法要 (中止) レントゲン健診 (順風会) お楽しみ外出 (中止) 退職異動者お別れ会		福寿会役員会・総会 (火災) 避難訓練 レントゲン健診
毎月	運営委員会・職員会・給食委員会・各ユニット会・処遇委員会・企画委員会 各専門委員会 (事故再発防止、身体拘束廃止・医療的ケア、虐待防止対策 感染症対策～3ヶ月1回研修、内部研修) 誕生会・ボウリング大会 (中止)・ユニット食・ホール喫茶		
定期	カンファレンス、エルダー委員会、防災対策委員会、苦情解決委員会 内科回診 (月1回)、散髪～月3回、ユニット全体消毒～週2回以上		
随時	地域行事外出・交流会・クラブ (一部中止)・法人研修会・法人各委員会 ・部会 (web他)・利用者、職員コロナウイルスワクチン接種		
毎日	ラジオ・リハビリ体操、機能訓練 (平日)		

(4) 特定施設生活介護事業所 (30人) 入所者利用状況等

月	入所可能人員	入所者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	900	875	97.2%	95.2%
5	930	893	96.0%	91.6%
6	900	884	98.2%	91.3%
7	930	861	92.6%	93.5%
8	930	883	94.9%	95.5%
9	900	887	98.6%	98.3%
10	930	893	96.0%	97.1%
11	900	867	96.3%	94.1%
12	930	896	96.3%	92.8%
1	930	887	95.4%	93.5%
2	840	812	96.7%	96.4%
3	930	895	96.2%	99.9%
合計	10,950	10,533	96.2%	94.9%

入所者要介護度別

(令和4年3月末現在)

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
0	0	0	6	10	8	3	3

男性 8名

女性 22名

入所者総数 30名

平均年齢

86.7歳

措置機関別入所状況

西予市

30名

12. 惣川高齢者生活福祉センター

(1) 行動指針

「一期一会の縁を大切にします」

①働くことの意義

私たちは、日々の仕事を通じて、人生を豊にします

②社会への貢献

私たちは、地域とともに、地域のために行動します

③法令・社会規範の遵守

私たちは、高い倫理観を持ち、公正・誠実に行動します

④働きやすい職場風土

私たちは、共に働く仲間を尊重し、明るい職場を創ります

⑤顧客起点

私たちは、利用者様の立場で考え誠意をもって行動します

(2) 事業報告

区分	重点項目	令和3年度取組報告
利用者・家族に対する基本姿勢	人権の尊重	コロナ禍のため例年のように研修に参加することができませんでした。 虐待チェックリストを活用し、研修内容の文書等を職員間で回覧し周知を図りました。
	サービスの質の向上	リハビリや機能訓練による自立生活の維持を図りました。 コロナ禍においても可能な時期に思いつきドライブを実施し気分転換を図りました。 難聴者向けに文字表記したパネルを使用しました。
	地域との関係の向上	コロナ禍のため、全面中止しました。
	生活環境・利用環境の向上	食堂洗面台と障がい者用トイレ内洗面台に温水器設置しました。
社会に対する基本姿勢	地域における公益的な取組	ボランティアは、コロナ禍のため受け入れ中止しました。 惣川小学校、幼稚園の交流会は、コロナ禍のため年2回の実施が1回となりました。
	情報発信	コロナウィルス等情報を得た時点で文書を作成、利用者、家族に配布し周知に努めました。 職員間で情報共有に努めました。
福祉人材に対する基本姿勢	人材のマネジメント	理念の周知徹底のため朝礼や職員会、委員会での一斉唱和を実施しています。
	人材の確保	コロナ禍で情報の提供や交流の場であった惣川民生委員会議に参加することが出来ませんでした。 地域住民への継続した声掛け等の対応により人材の確保に取り組みました。

	重点項目	令和3年度取組報告
	人材の定着	新任職員の育成を通じて指導する職員の成長も促しました。コロナ禍で外部研修への参加は困難でしたが、内部研修に取り組み、知識、技能、接遇の向上にも努めました。
	人材の育成	成長支援制度の理解を深めるために研修を行いました。
マネジメン トに対する 基本姿勢	コンプライアンス の徹底	就業規則を掲示し、変更点等については朝礼等で説明を行いました。
	健全な財務規律の 確立	地域の情報収集やケアマネとの連絡を密にして利用増を図りました。全職員がコスト意識を持ちコストダウンに努めました。

### (3) 行事報告

月	行 事	研 修	そ の 他
4月	誕生会 レクリエーション外出 (中止) 思いつきドライブ (鬼北方面)	法令順守コンプライアンス研修 個人情報・プライバシー研修 成長支援制度の目標発表等	舟戸分館花見(中止)
5月	誕生会 レクリエーション外出 (中止)	食中毒について	
6月	誕生会 遠足(中止)	西予市土砂災害訓練	
7月	七夕飾り 誕生会 惣川小学校・幼稚園交流会	高齢者虐待と身体拘束研修	
8月	誕生会 思いつきドライブ (大野ヶ原)	事故再発防止 リスクマネジメント研修	
9月	誕生会	認知症ケアに必要な知識	運営推進会議(書面開催)
10月	秋の遠足(中止) 地方祭見学(中止)	感染症対策(ノロウイルス ・インフルエンザ)研修 上半期成長支援発表	
11月	紅葉見学(ドライブ) 乙亥相撲観戦(中止)	救命救急講習 AED研修	奉仕作業(除草作業 ・カーブミラー磨き)
12月	クリスマス会 誕生会 幼稚園・小学校交流会 (中止) 思いつきドライブ(大門松) 買い物外出	虐待防止・身体拘束適正化 避難・通報訓練 防災に関する研究・ 研修BPC模擬訓練	
1月	初詣(中止) 誕生会	事故再発防止研修	
2月	節分、豆まき(中止)	サービス向上に向けての研修 成長支援制度の成果発表	
3月	誕生会 小学校交流会(中止)	避難訓練	運営推進会議(書面開催)

毎月	誕生会、惣川職員会、思いつきドライブ
毎日	高齢者用ラジオ体操、棒体操、リハビリ体操、口腔体操、編み紐体操

(4) 通所介護事業利用状況等

月	利用可能人員	利用者実人数	稼働率	前年度稼働率
4	220	179	81.4%	65.1%
5	210	179	85.2%	57.3%
6	220	183	83.2%	64.5%
7	220	171	77.7%	68.4%
8	220	174	79.1%	61.0%
9	220	183	83.2%	58.8%
10	210	167	79.5%	57.9%
11	220	168	76.4%	65.7%
12	200	152	76.0%	67.7%
1	170	114	67.1%	63.0%
2	200	126	63.0%	64.6%
3	230	156	67.8%	64.1%
合計	2,540	1,952	76.9%	63.2%

利用定員 10名

1日平均利用 7.7人

営業日 月曜日から金曜日の週5日(8月14日、15日と12月29日～1月3日休業)  
(1/25～27(3日間)職員コロナ濃厚接触者のため休業)

介護度状況(令和4年3月末現在)

介護度状況(令和4年3月末現在)					総合事業含む	
介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	要支援1	要支援2
5	2	0	1	0	2	6

男性 8名 女性 27名

平均介護度 1

#### XIV その他の公益事業

##### 1. 修学支援事業

###### 1-1 奨学金事業

###### (1) 行動指針

将来、社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職を希望する者を対象に、修学資金を貸与して養成事業等の修学に資することにより、事業継続のための人材確保を図り、地域福祉の増進と充実に貢献し、有為な人材を育成していきます。

###### ○具体的取り組み

月	実 施 報 告	
4	HP掲載 奨学金交付	奨学金貸付1名
5	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
6	法人広報誌掲載、リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
7	リクルート活動 奨学金交付	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
8	リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
9	法人広報誌掲載、リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
10	リクルート活動	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
11	南予地域の高等学校へパンフレット送付	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
12		奨学金貸付1名・奨学金返済1名
1	奨学金審査委員会（令和4年度奨学生決定）	奨学金貸付1名・奨学金返済1名
2		奨学金貸付1名・奨学金返済1名
3		奨学金貸付1名・奨学金返済1名

###### ○実施状況

令和3年度の奨学金貸付者（奨学生）は1名、奨学金返済者が1名となっています。1名の奨学生は、令和4年3月卒業し、令和4年4月から野村学園で就労することになりました。

又、奨学金制度に1名応募がありました。1月に奨学金審査委員会を開催し令和4年度からの奨学生を決定いたしました。

制度の周知を図り、学生の修学支援と法人の人材確保に努めます。

###### 1-2 就職準備貸付金事業

###### (1) 行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会に就職が内定した学生に対し、就職のための準備金を貸し付けることで福祉人材の確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

###### ○具体的取り組み

月	実 施 報 告	
10	就職準備貸付金事業案内	
12	就職準備貸付金貸付	就職準備貸付金の借受人6名

○実施状況

当法人に就職が内定した4名の高校生に就職のための準備金を1名につき30万円の貸付を行いました。就職に必要な転居費用、被服費、通勤用自転車等の購入費用として利用されました。

就職に関する様々な不安要素を少しでも軽減することができます。

1-3 看護師資格取得に関する奨学金事業

(1) 行動指針

社会福祉法人西予市野城総合福祉協会の職員に看護師資格取得に関する奨学金を貸付し、看護師の人材確保に繋げ、事業の継続を図り、地域福祉の増進と充実に貢献していきます。

○具体的取り組み

月	実 施 報 告
4	職員周知
7	職員周知
10～2	規程の全部改正について検討
3	規程の全部改正について理事会上程。令和4年4月1日施行承認

○実施状況

令和3年度については、職員に制度の周知を図りましたが、申込者はありませんでした。看護師資格を取るために休職して挑戦するという意思決定をするのには、職員も生活設計を見直す必要があり、利用に結びつきませんでした。

そういった課題を見直し、規程の全部改正について検討してきました。前規程では貸付額月額8万円が上限でしたが、貸付月額下限10万円、貸付月額上限20万円の範囲内で、奨学生本人の申し込みにより貸付額を選択できるようにしています。

利用しやすい制度にし、職員がスキルアップできると共に看護師の人材確保に繋げ、事業の継続を図っていきます。

## 2. 法人後見事業

### (1) 行動指針

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者など意思決定が困難な人を、法律的に保護し、支えます。法人の持つ専門性やネットワークを最大限に活かしながら、地域福祉の推進の末端を担い、法人の理念や基本方針の実現を目指します。

### ○実施状況

令和2年度より2件受任しています。

令和3年8月と9月に家庭裁判所宇和島支部へ後見事務報告書を提出し初回の報酬をいただきました。

対象者A氏が令和4年3月25日に死亡され、死後の事務処理や相続人への連絡をおこなっているところです。

登記終了の手続きもおこなっていきます。

西予市中核機関設置委員会の委員として選任されました。

第1回の委員会が令和4年2月25日に開催されZOOMにて出席しました。

対象者	A氏	対象者	B氏
選任日	令和2年10月8日	選任日	令和2年10月13日
確定日	令和2年10月24日	確定日	令和2年10月30日
登記日	令和2年10月28日	登記日	令和2年11月4日
居住地	西予市宇和町	居住地	西予市宇和町
死亡日	令和4年3月25日		

※コロナ禍で、訪問できない時は電話連絡にて体調、状況の確認をさせていただきました。

※通帳名義、郵便物転送手続きを行いました。

### ○今後の課題

法人後見の対象者が亡くなったのは西予市内では初めてのことであったため、死後の事務処理や相続に関して分からないことが多くあり中四国権利擁護ネットワークで知り合った方から教えて頂いたり、司法書士から教えて頂きながらすすめているところです。後見人を受任した後しておくべきことは、相続人が相続をされるかの確認を生存中にしておくことが分かりました。

西予市内の3社会福祉法人が今後も情報共有しながら西予市のセーフティネットとしての機能の充実、また職員のスキルアップを目指していきたいと考えています。